資料3－3

# 原子力科学研究所（JRR-3）

# 敷地の地質・地質構造について
# （ボーリングコア写真・柱状図集）

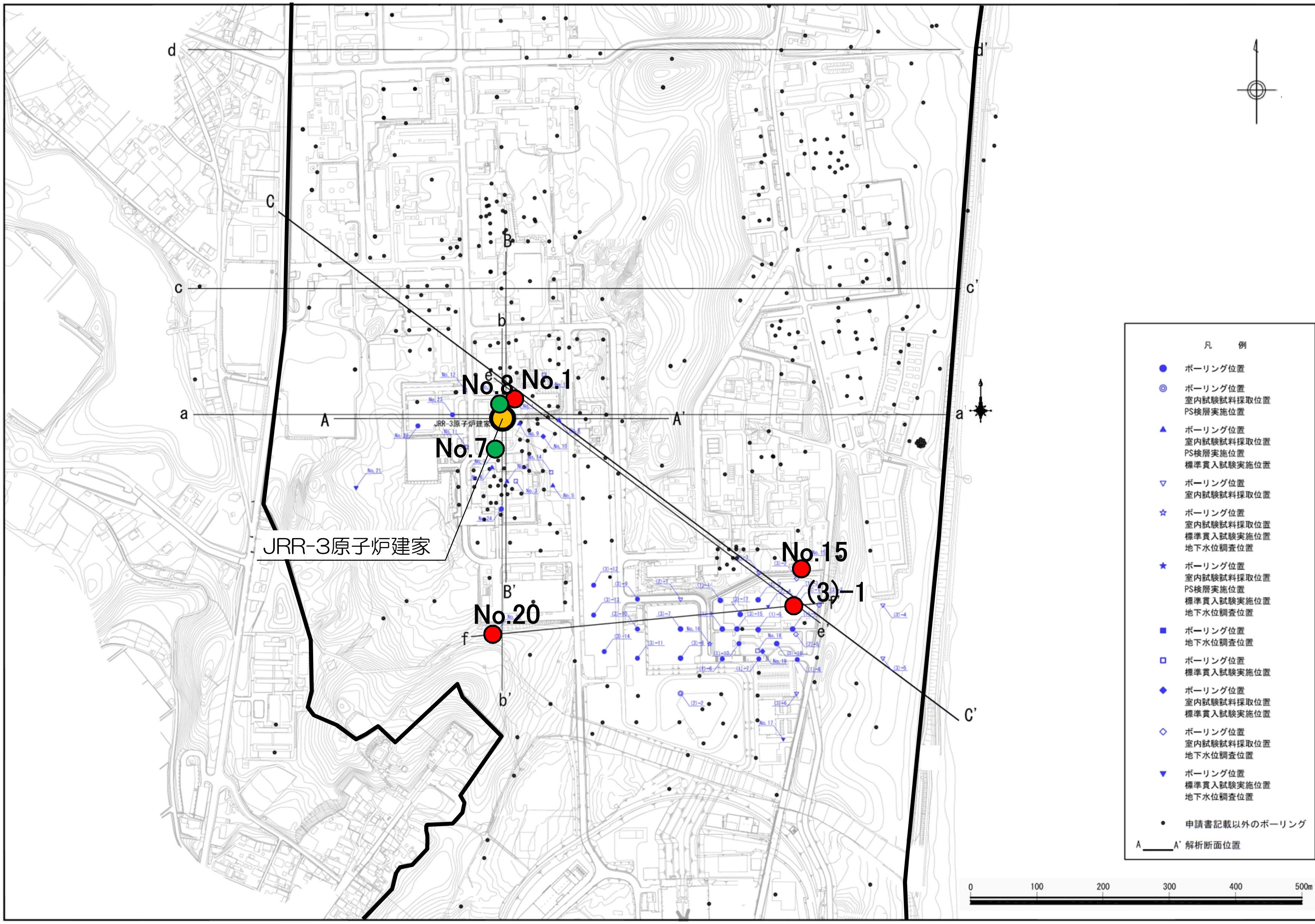
平成29年9月21日
国立研究開発法人　日本原子力研究開発機構

# 目　次

# １．　ボーリング位置図

# ボーリング調査位置図

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲




● ボーリングコア写真と地質柱状図を掲載するボーリング　● 地質柱状図を掲載するボーリング

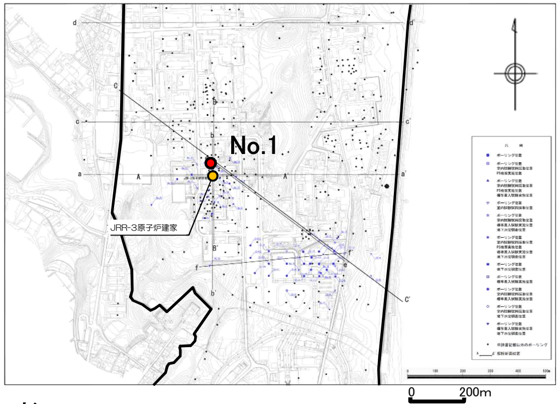
0　200m

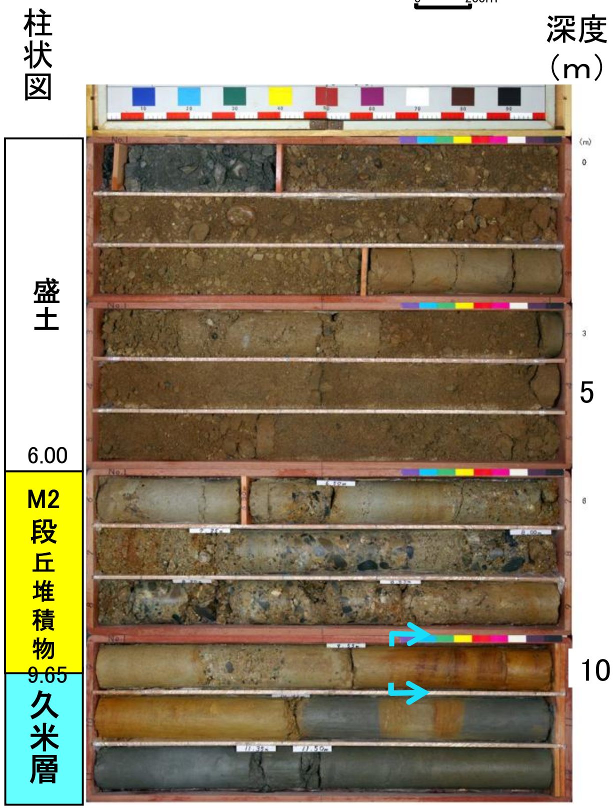
# 2. ボーリングコア写真

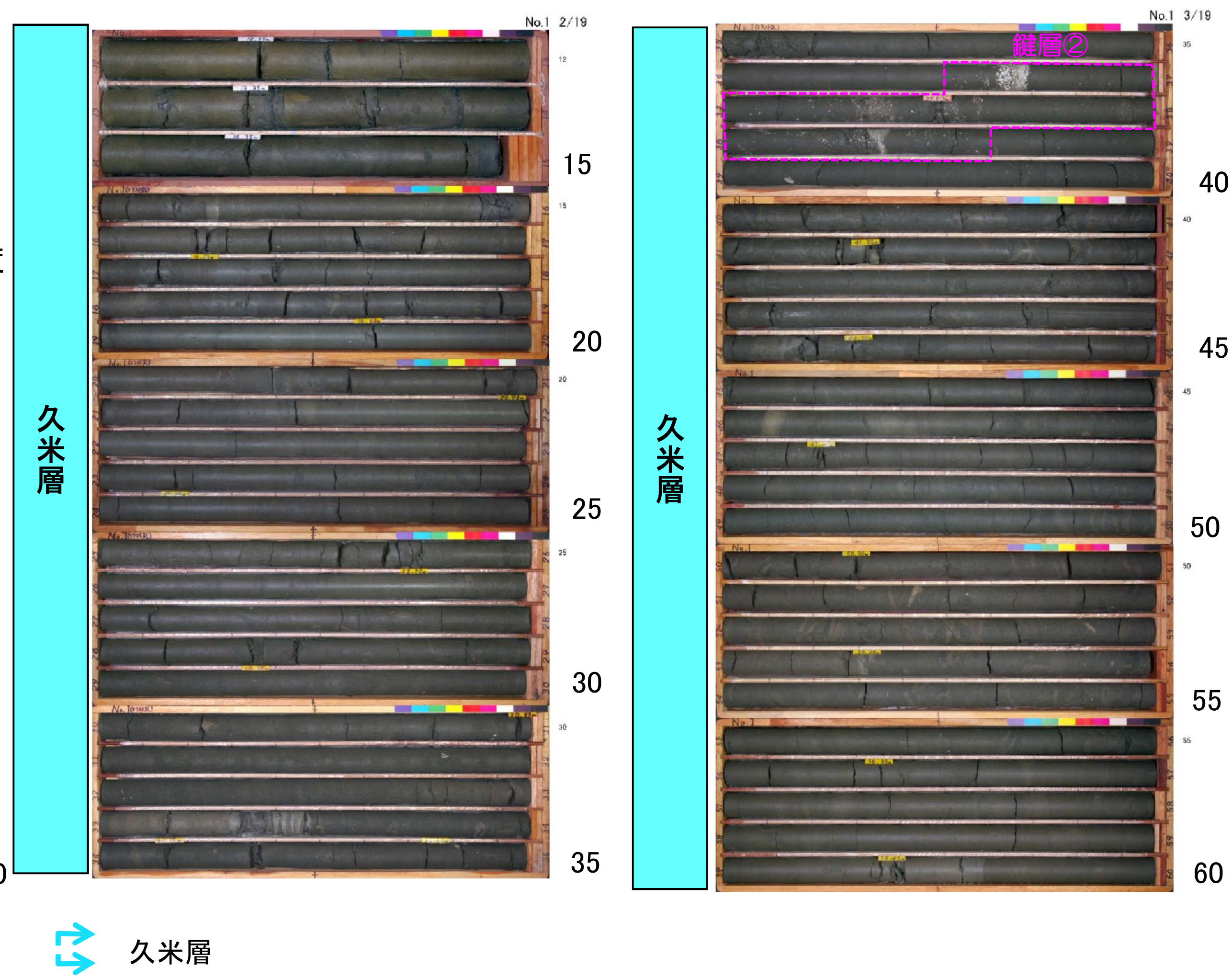
No.1孔

# ボーリングコア写真　No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲



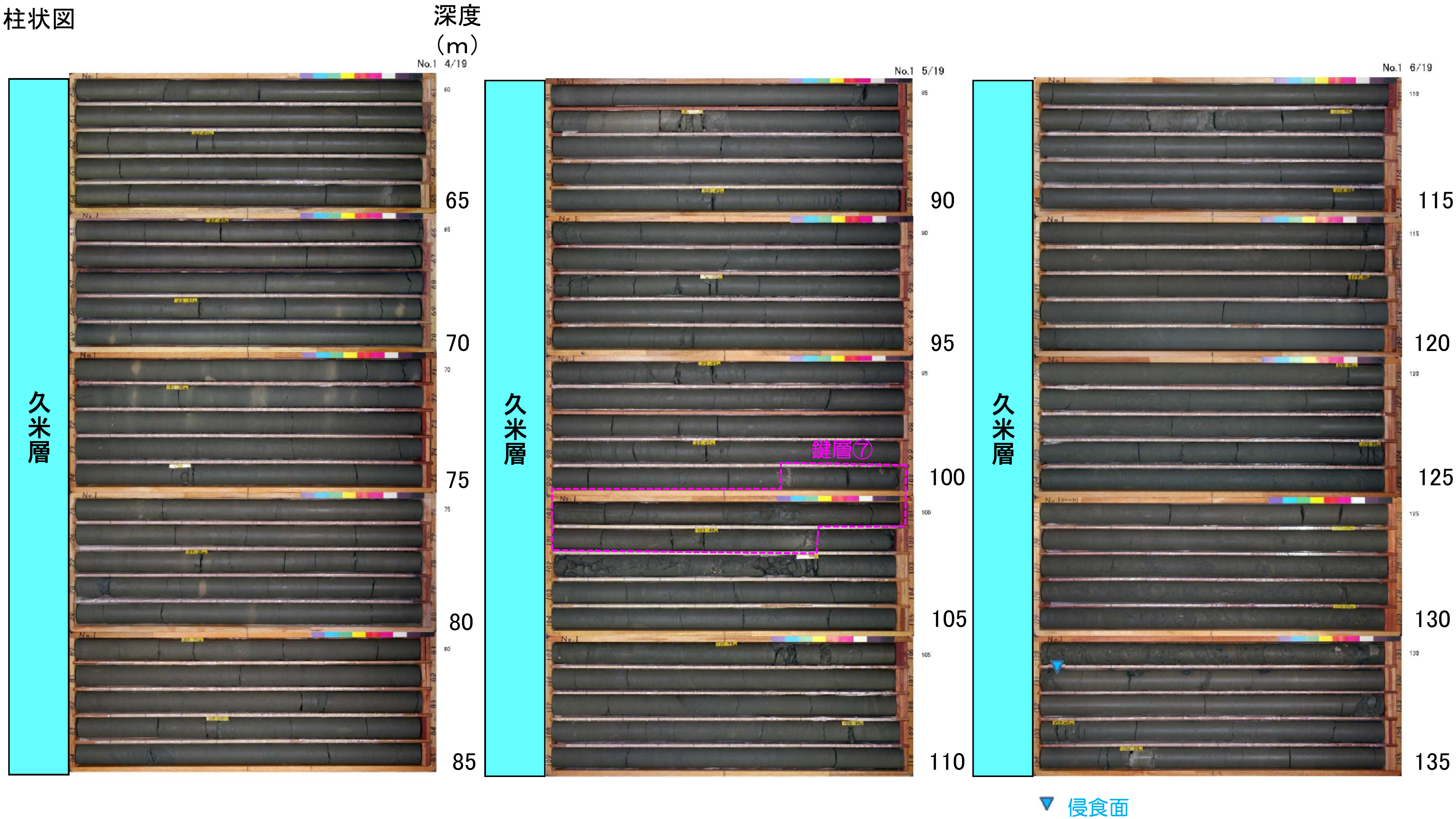




ボーリングコア写真（No.1孔）

# ボーリングコア写真　No.1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　加筆修正



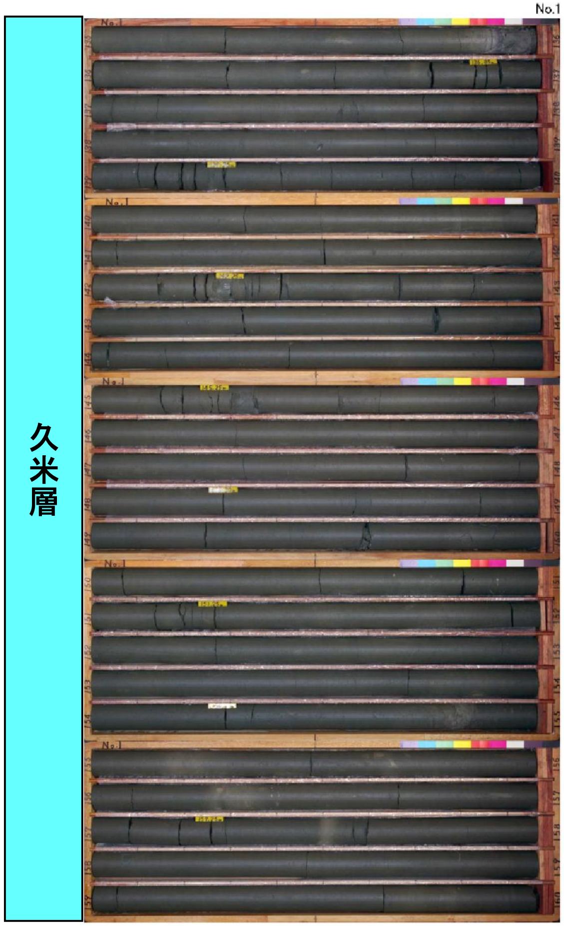
# ボーリングコア写真　No.1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

柱状図

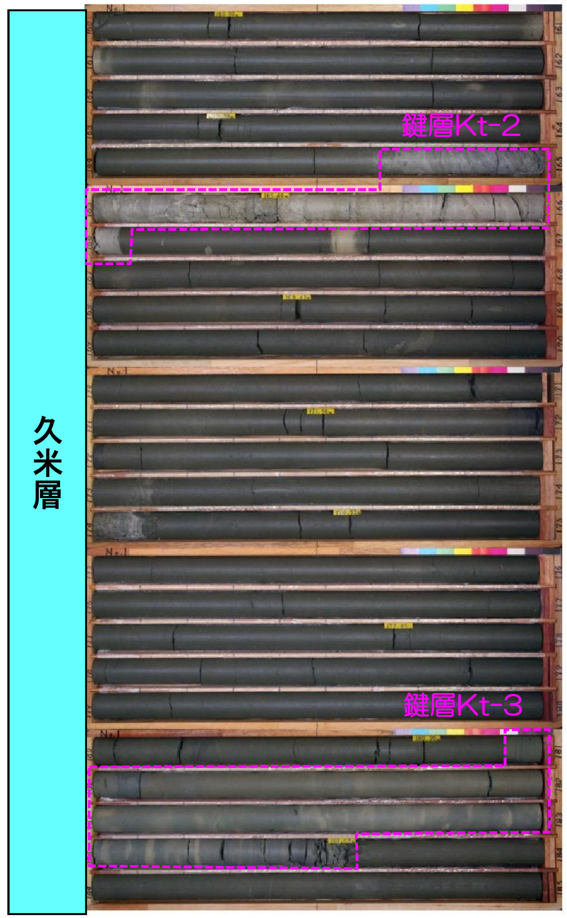
深度
（m）

No.1　7/19




140
145
150
155
160

No.1　8/19




165
170
175
180
185

9/19


190
195
200
205
210

# ボーリングコア写真　No.1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

柱状図

深度（m）

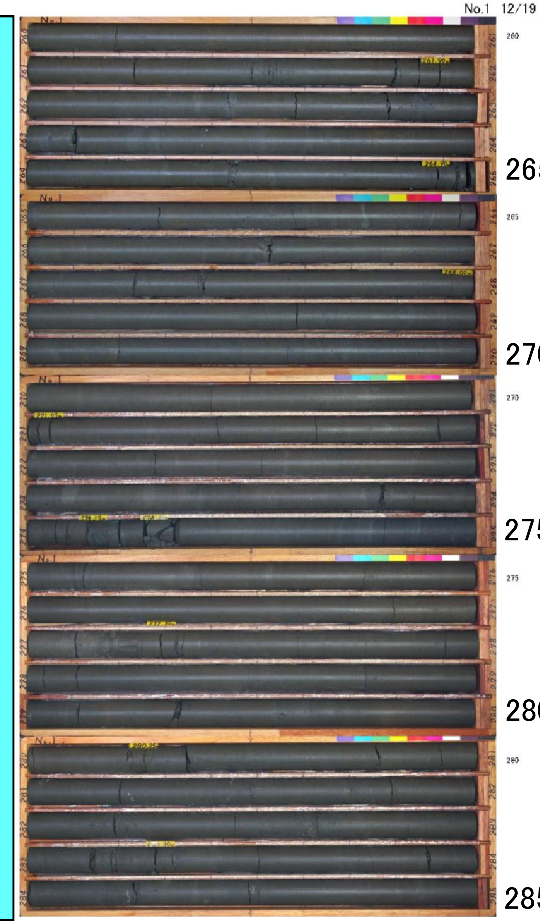
久米層


215
220
225
230
235

久米層


240
245
250
255
260

久米層



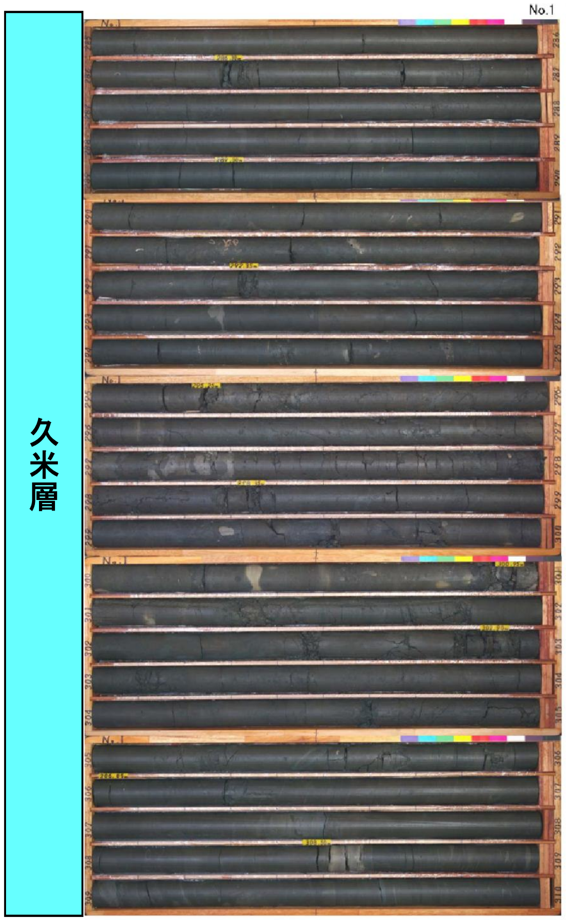

265
270
275
280
285

# ボーリングコア写真　No.1孔

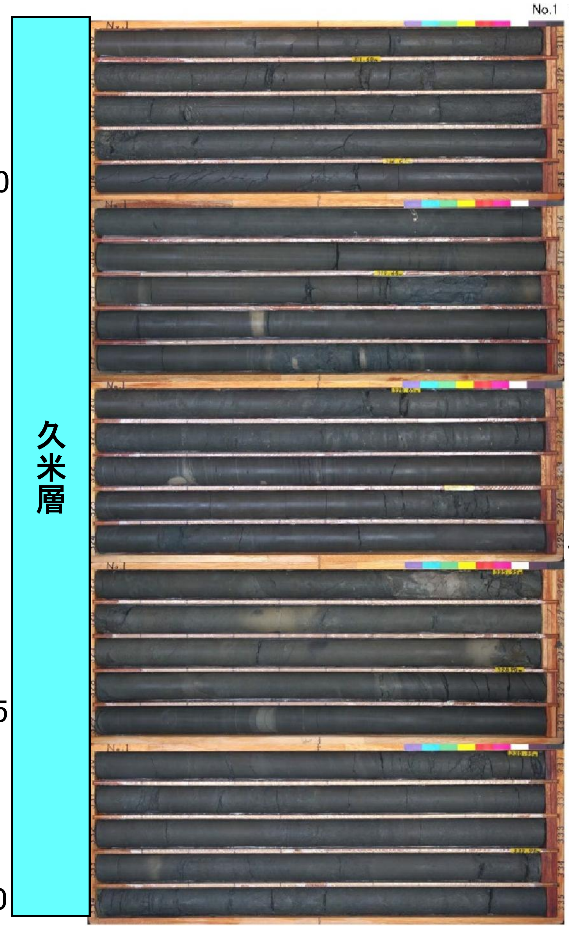
第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

柱状図

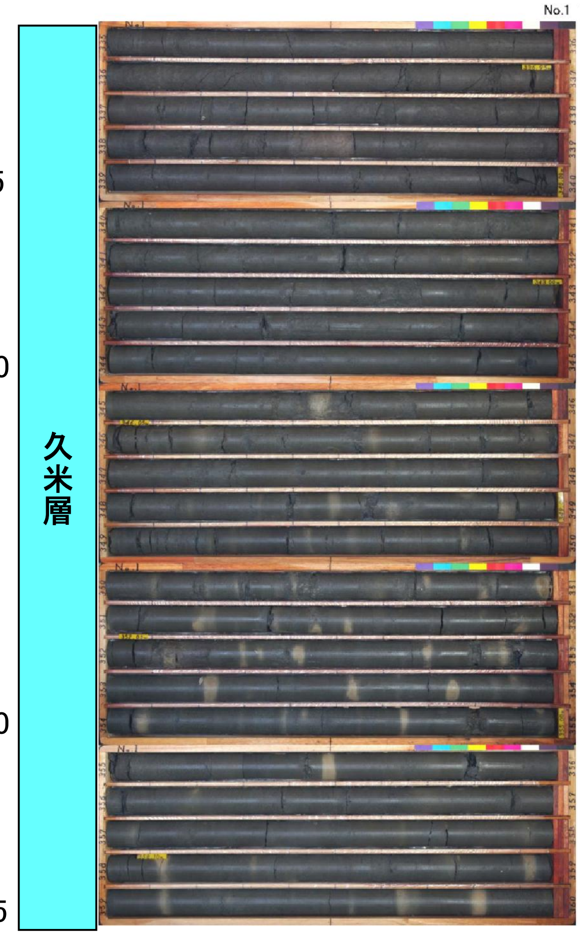
深度
（m）




290
295
300
305
310




315
320
325
330
335




340
345
350
355
360

# ボーリングコア写真　No.1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

柱状図

深度
(m)

久米層

365
370
375
380
385

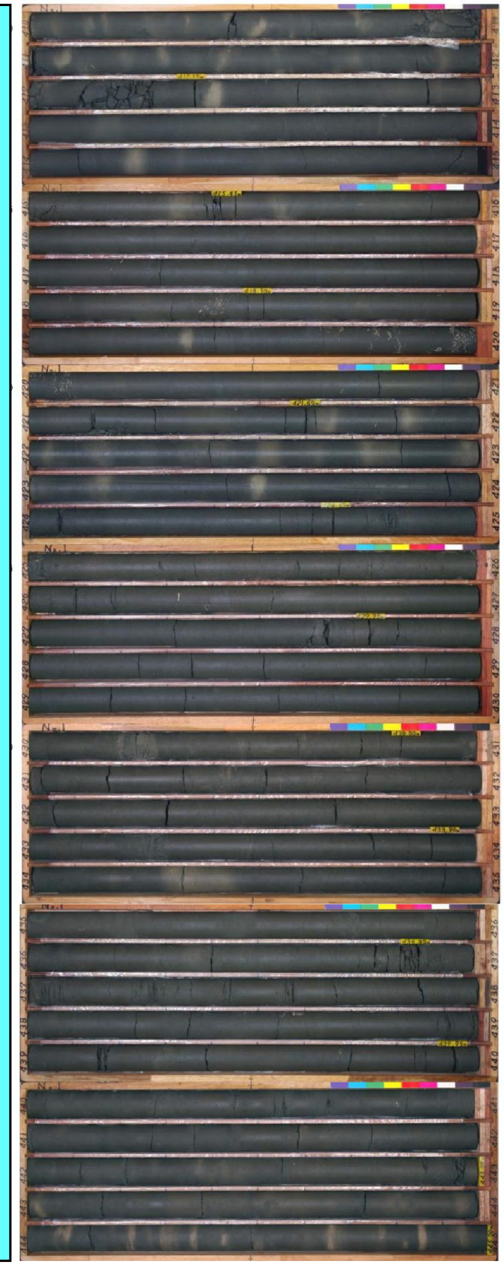
No.1　17/19

久米層

390
395
400
405
410

No.1　18/19

久米層



415
420
425
430
435
440
445

No.7孔

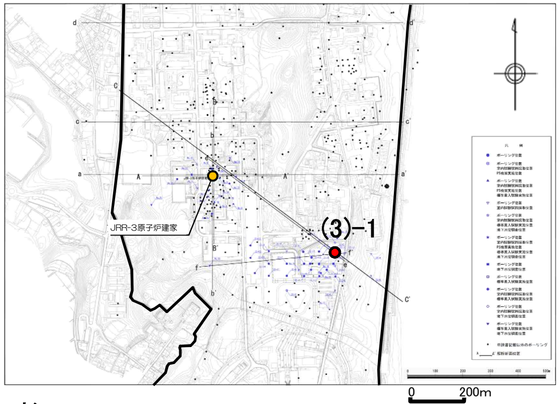
# ボーリングコア写真　No.7孔

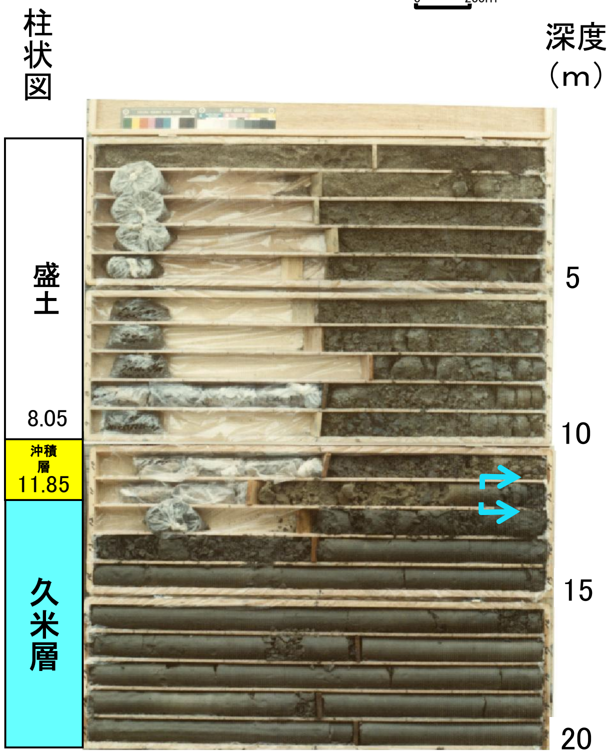
- 掘削当時（S56年）のコアの状態を確認できる写真が無いため、コア写真は掲載していない。
- 「鍵層」、「亀裂」の検討においては保管されているコアで行っている。

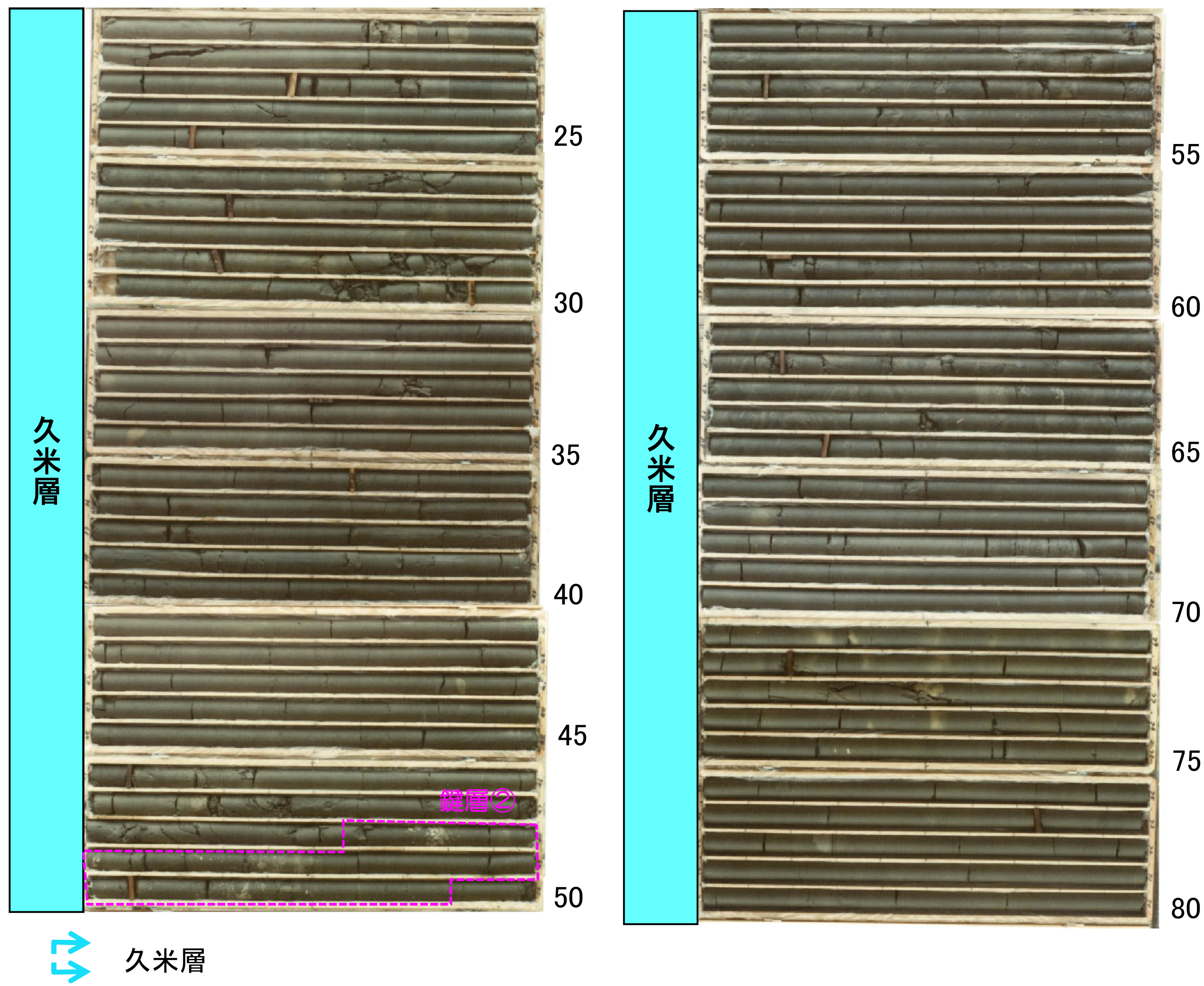
# （3）-1孔

# ボーリングコア写真　(3)-1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

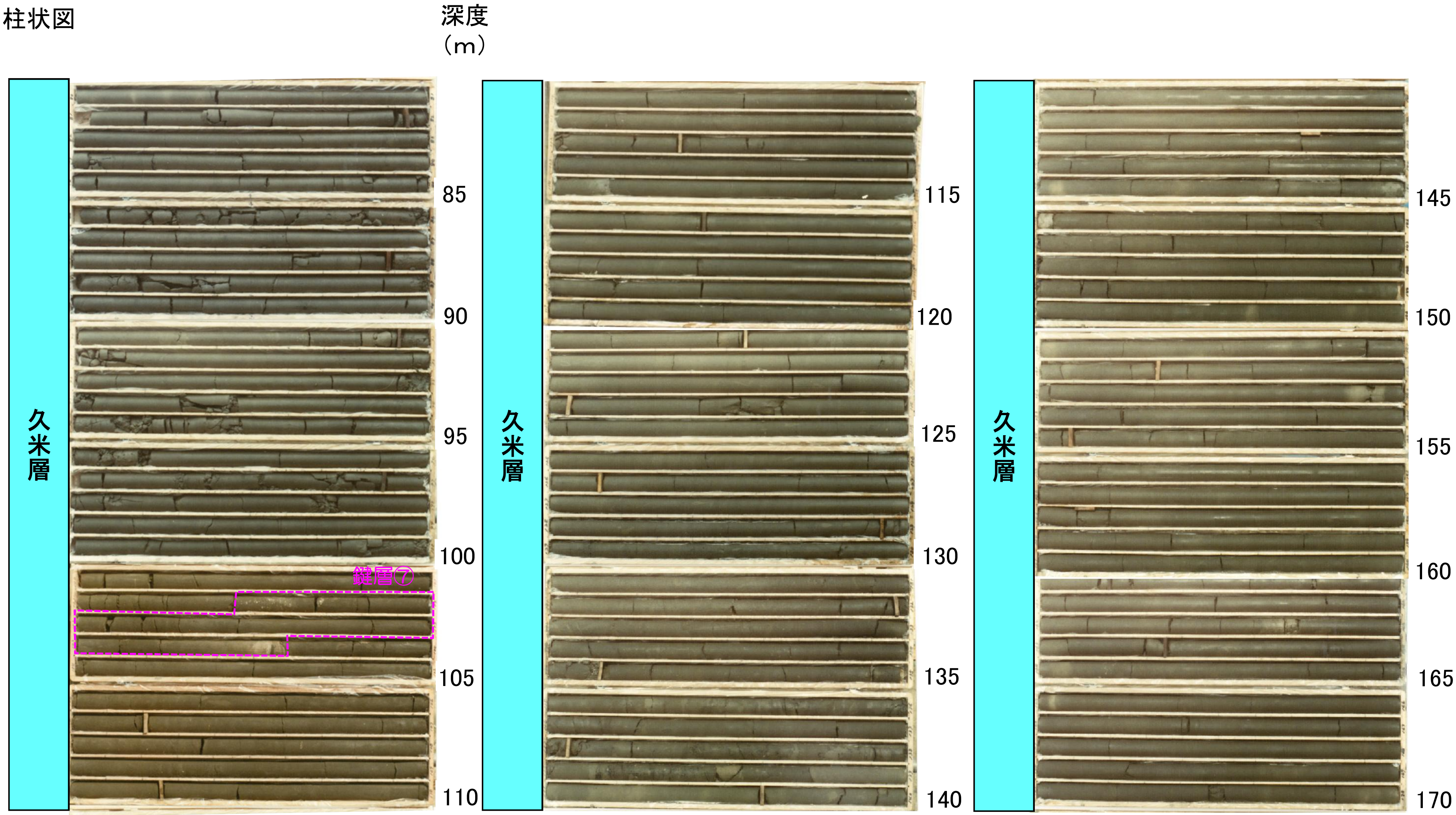


# ボーリングコア写真 (3)-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

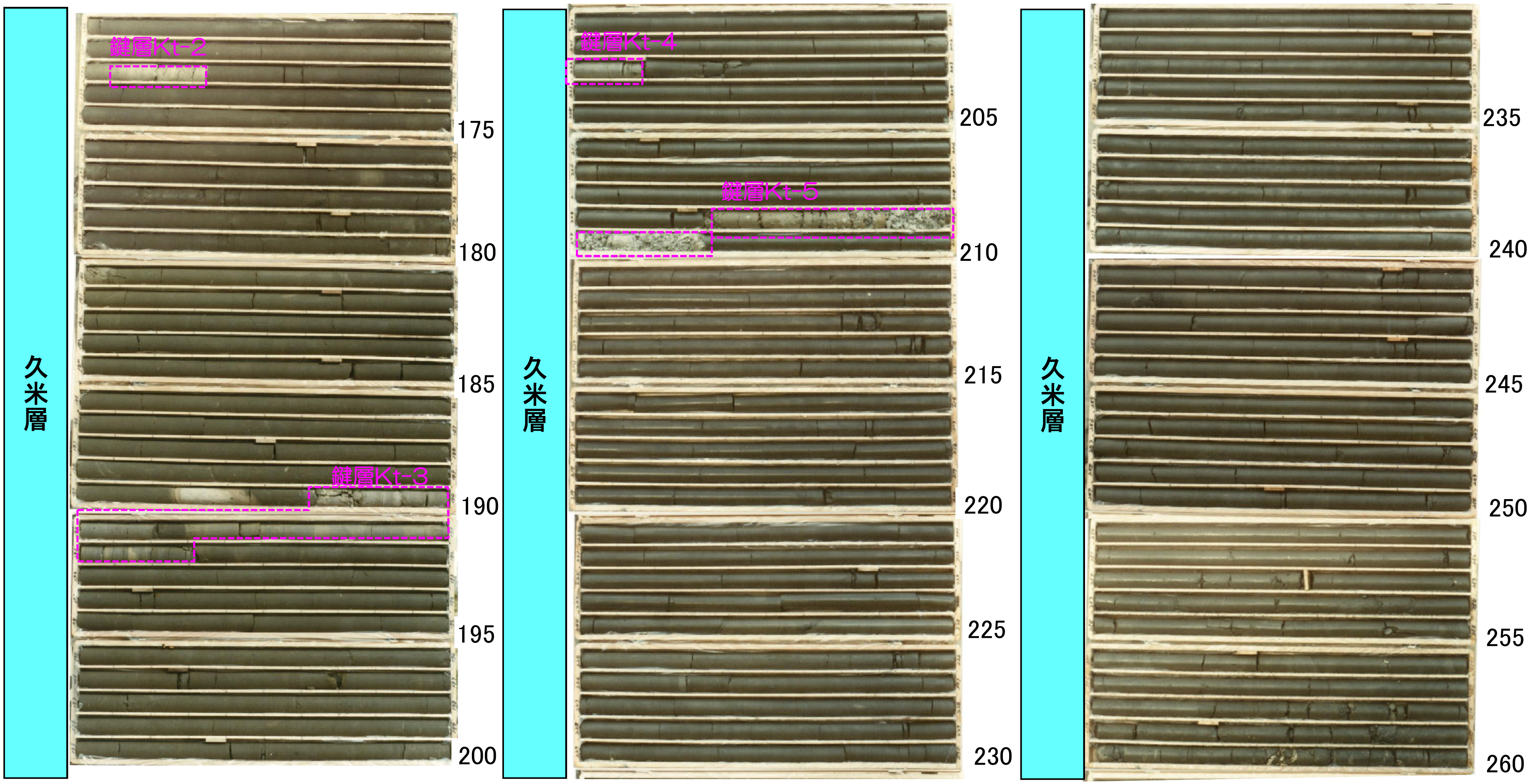


# ボーリングコア写真　(3)-1孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

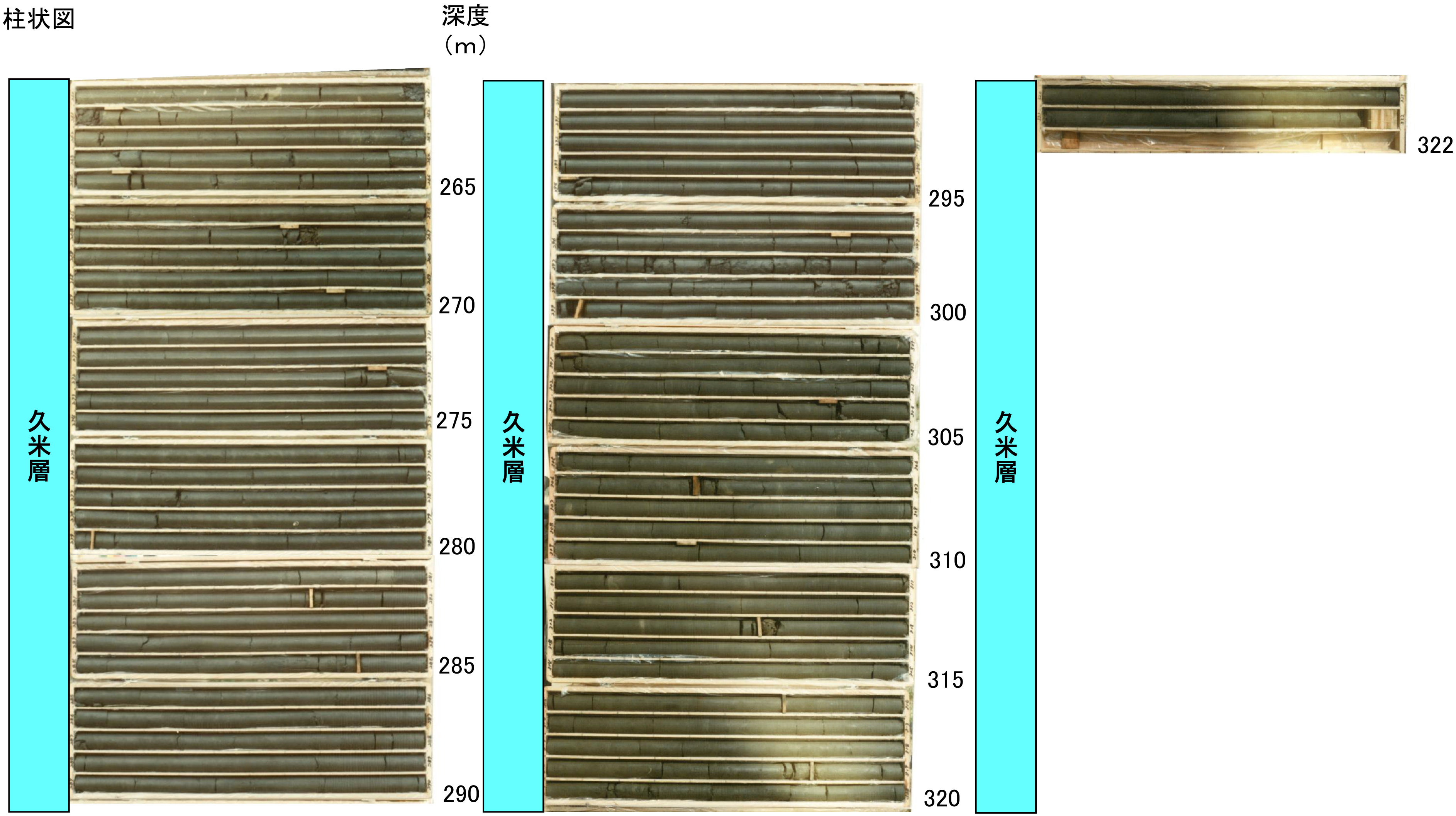
柱状図

深度
（m）



# ボーリングコア写真　(3)-1孔

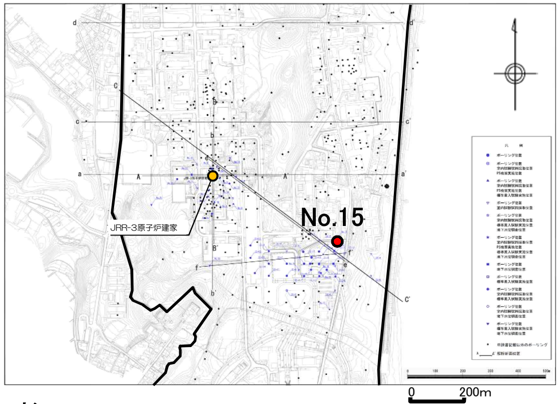
第147回　審査会合
机上配布資料　再掲

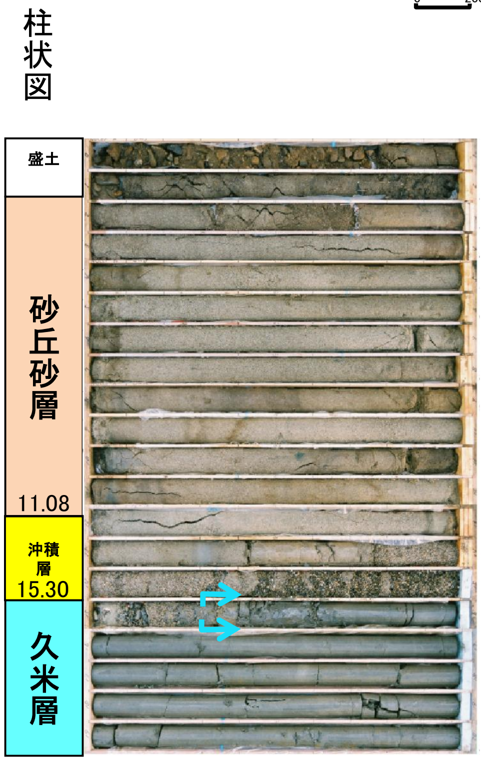


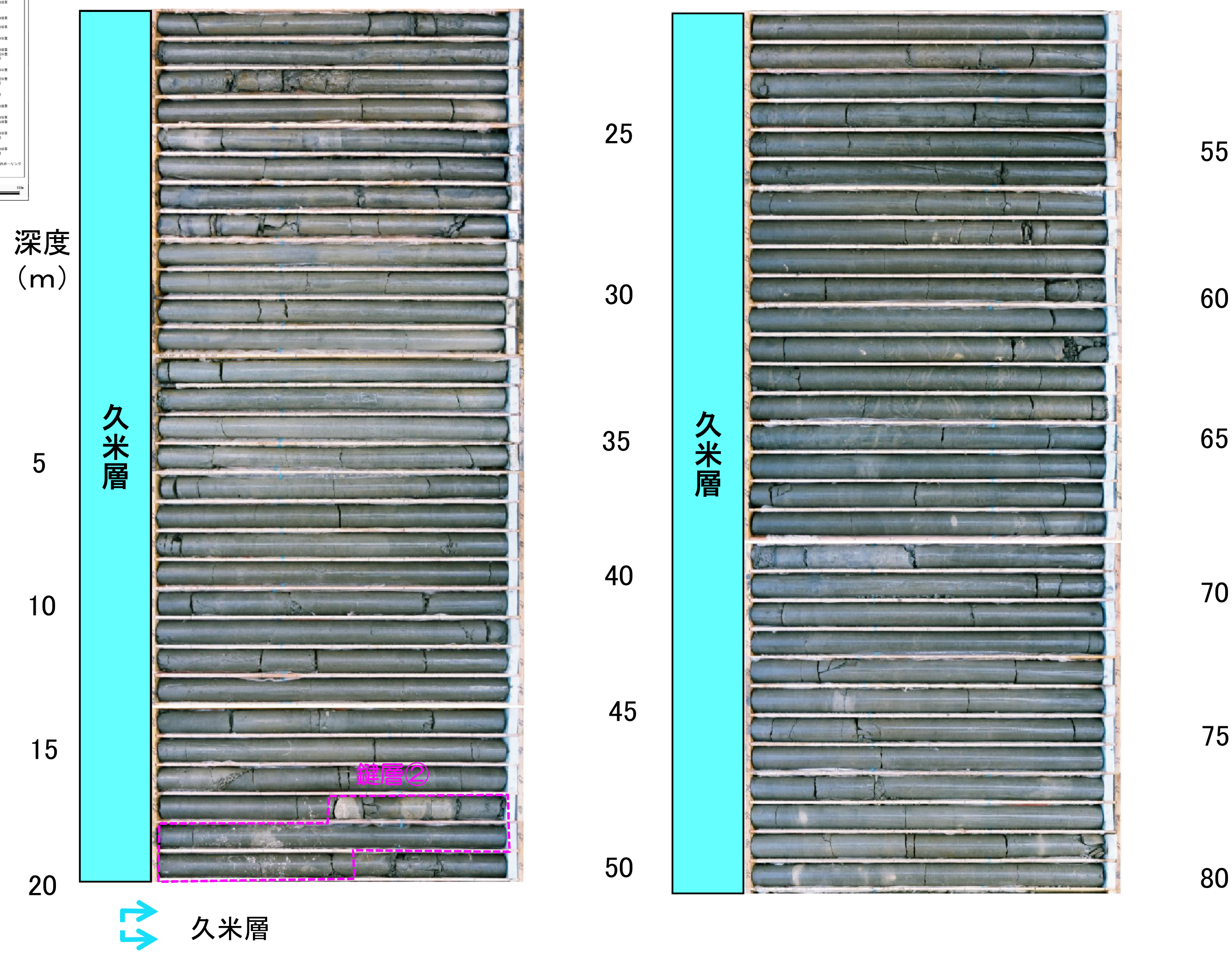
No.15

# ボーリングコア写真　No.15孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲



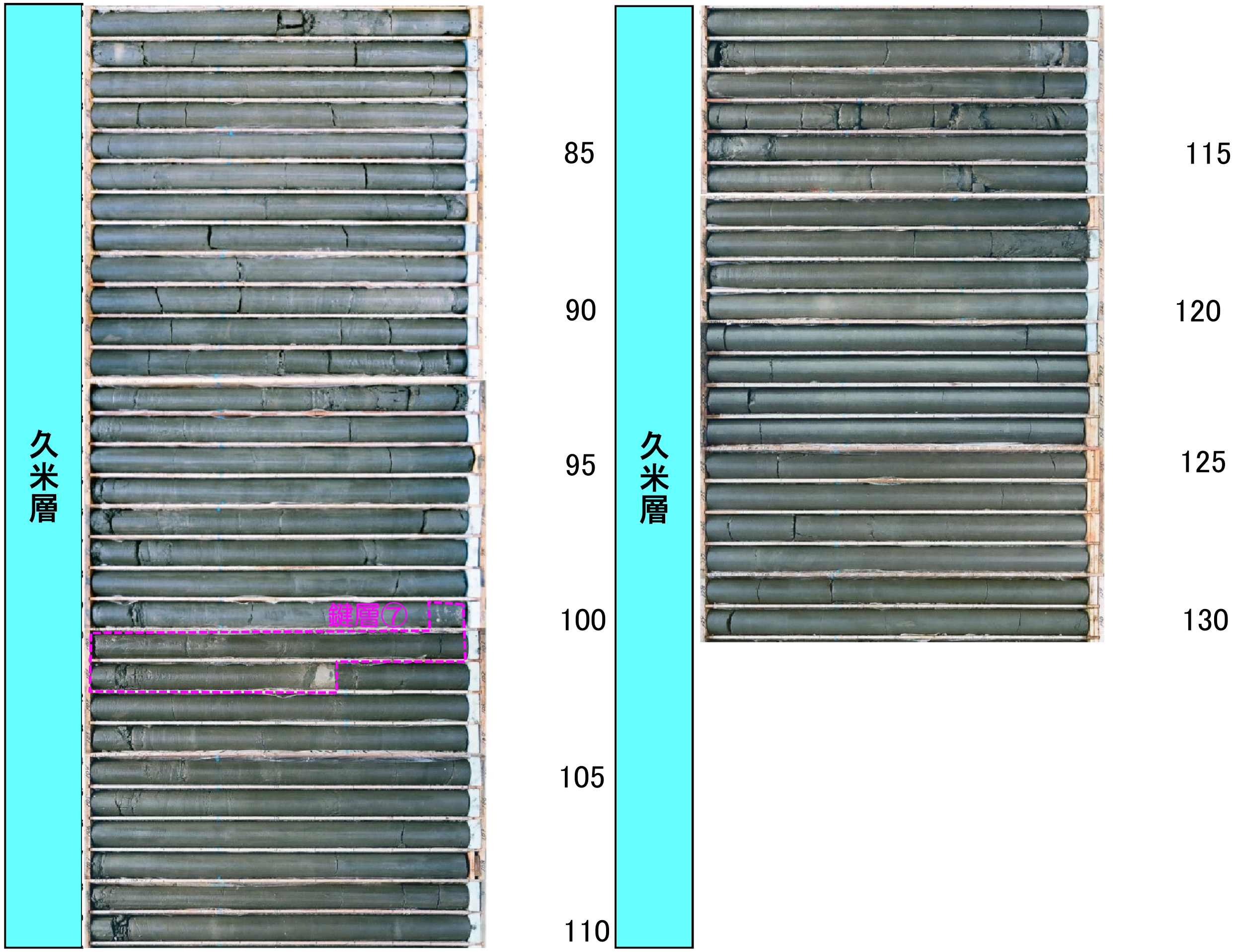



# ボーリングコア写真　No.15孔

柱状図

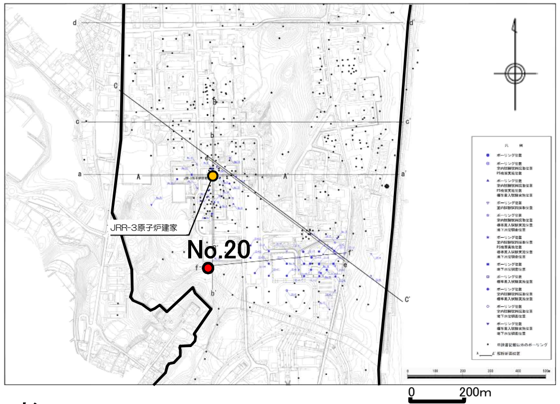
深度（m）



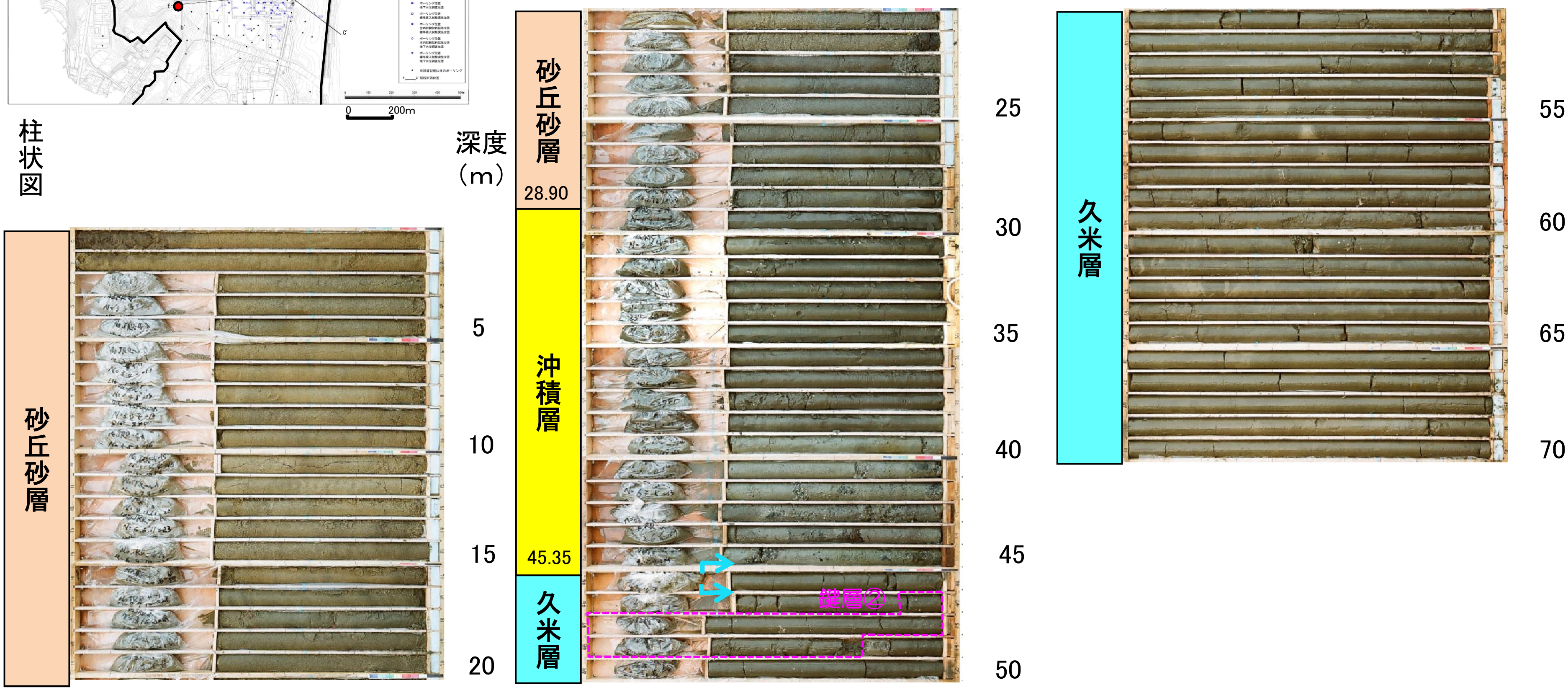
No.20

# ボーリングコア写真　No.20孔

第147回　審査会合
机上配布資料　再掲




柱状図




久米層

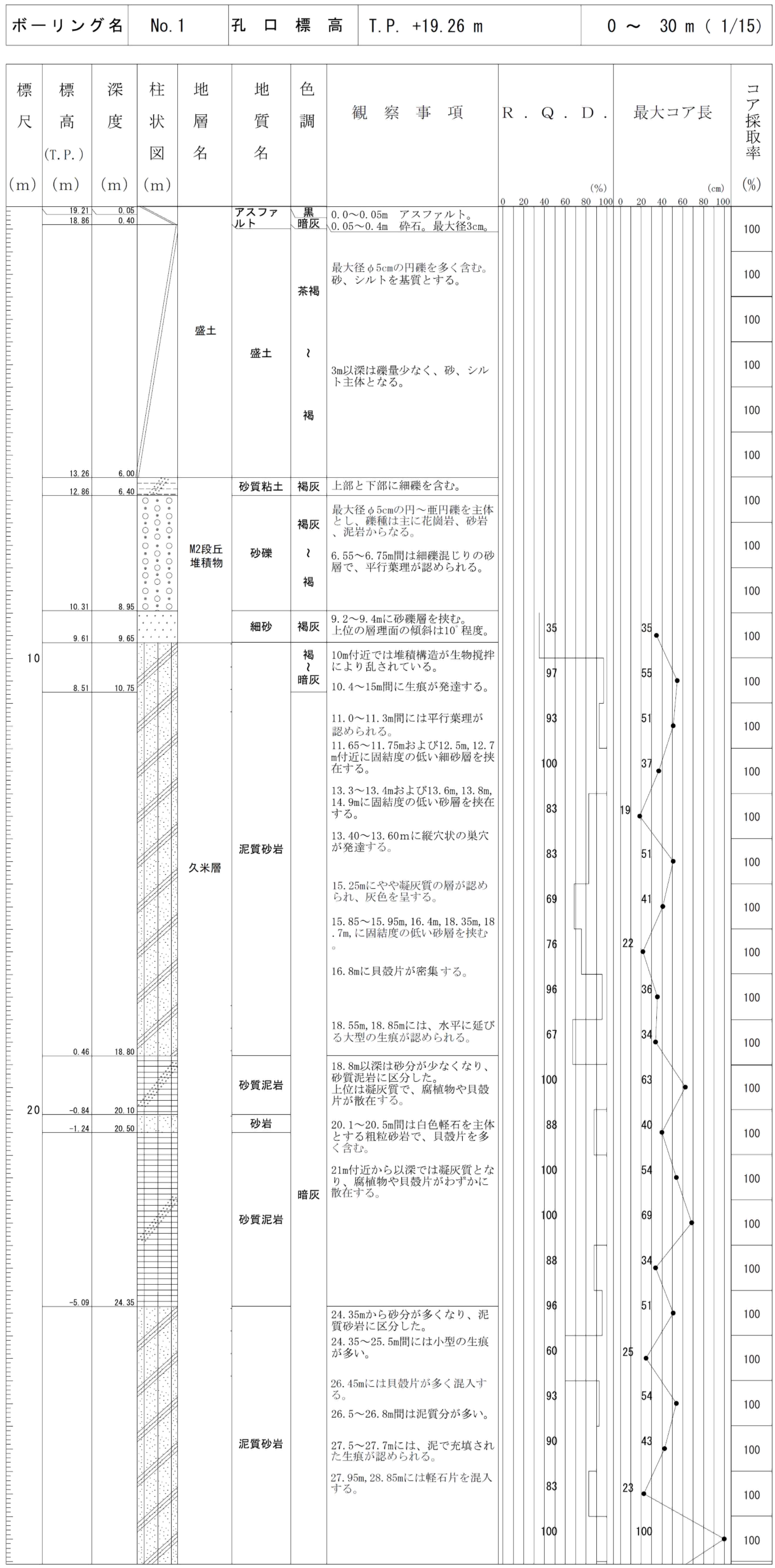
# 3. 地質柱状図

# No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

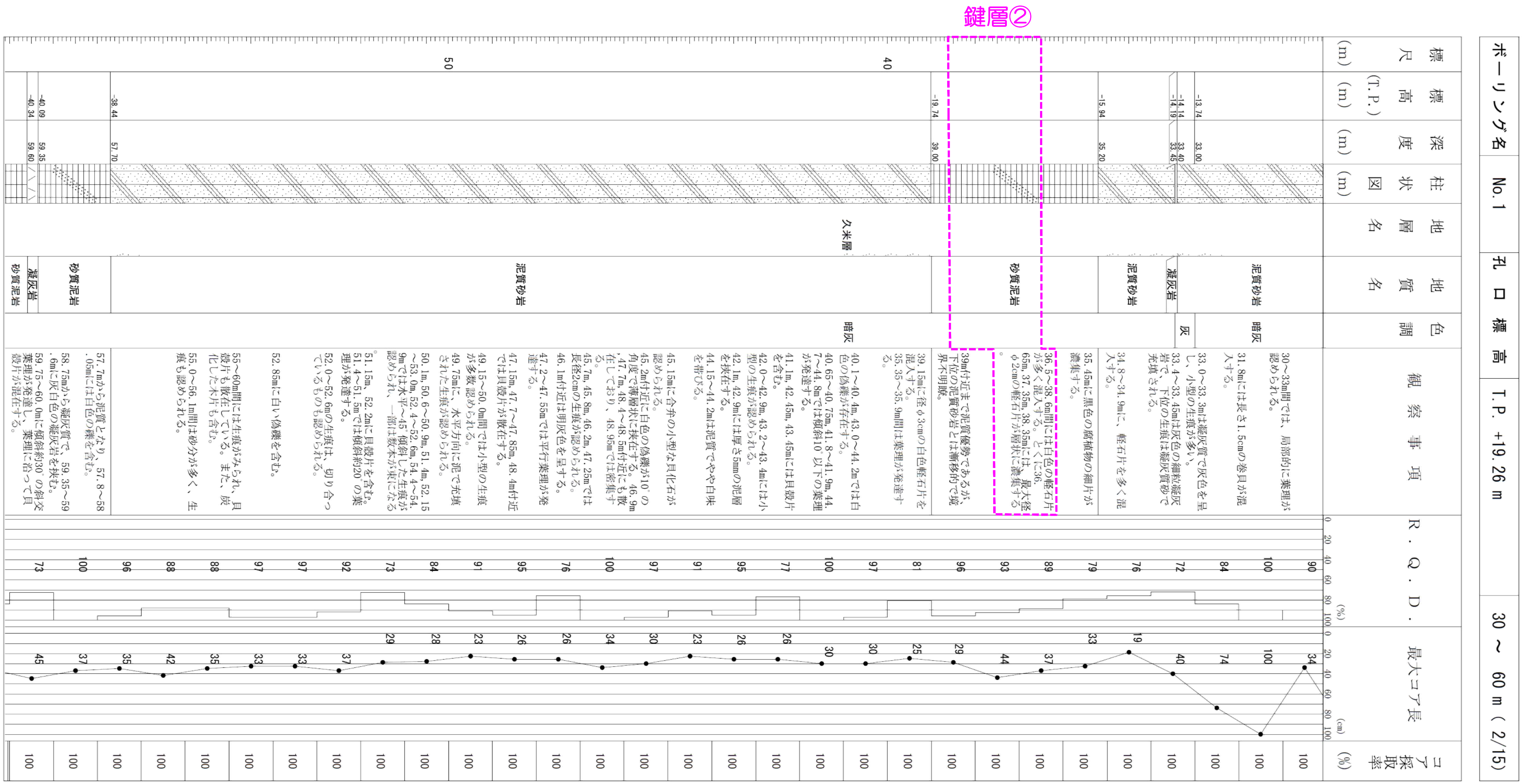
# 地質柱状図 No.1孔

## No.1孔 深度 0～30m



# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲



# 地質柱状図 No.1孔

## No.1孔 深度 60~90m

| ボーリング名 | No. 1 | 孔口標高 | T.P. +19.26 m | 60 ~ 90 m ( 3/15) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 |
|---|---|---|---|---|---|
| 60–64.85 | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 |
| | -45.59 | 64.85 | 久米層 | 凝灰岩 | 暗灰 |
| | -45.64 | 64.90 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 |
| 70 | | | | | |
| 80 | | | | | |
| | -66.84 | 86.10 | 久米層 | 凝灰岩 | 暗灰 |
| | -67.14 | 86.40 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 |

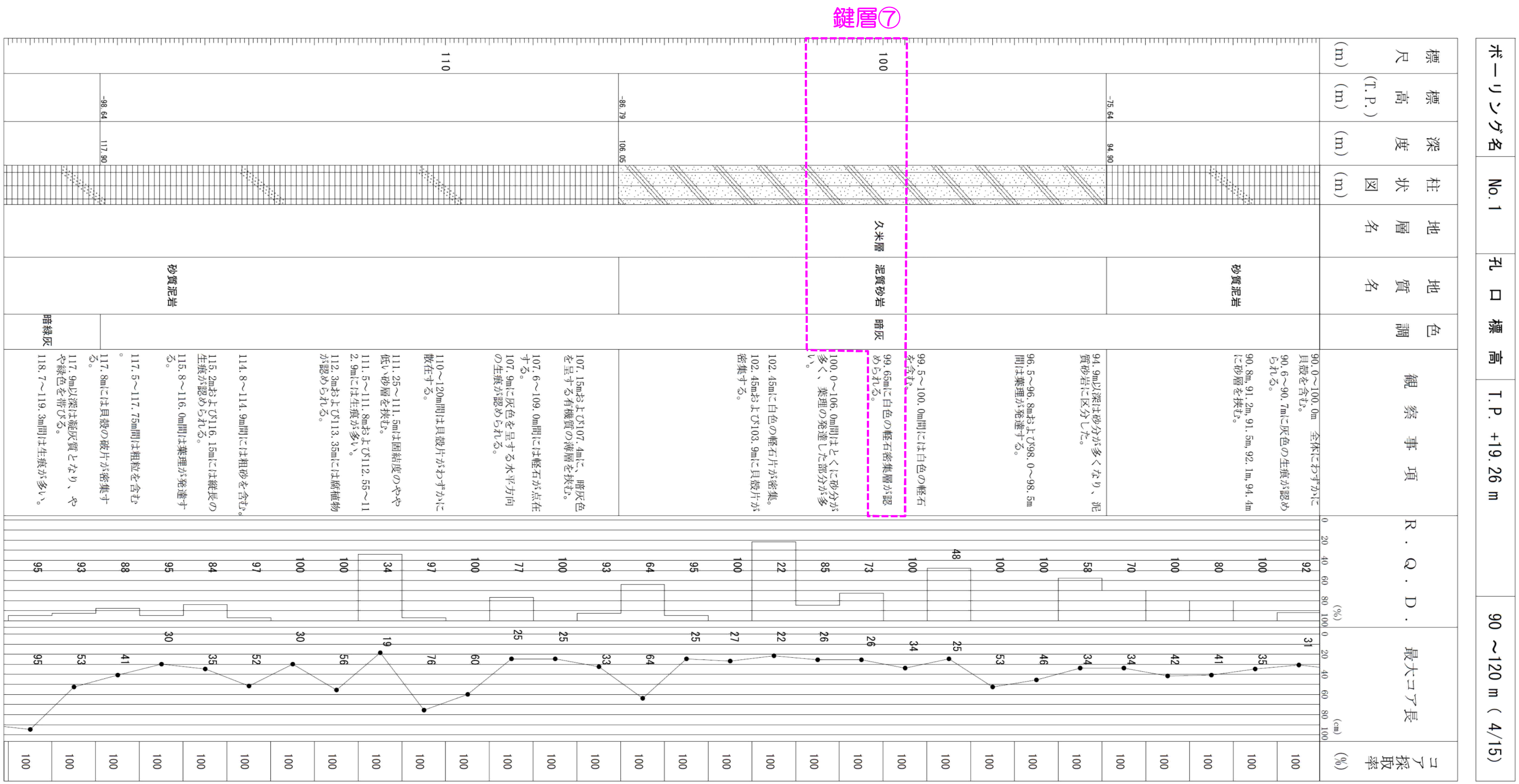
**観察事項**

60.2~60.3m, 60.45~65.0m間は砂分が多い。
60.2~60.3m, 60.5m, 61.1~61.2m, 62.45~62.55mでは平行葉理が発達する。
60.5mでは貝殻片が傾斜20°の葉理に沿って混在する。
60.7m, 63.9mには径1cm程度の楕円状の生痕が認められる。
64.85~64.9mに白色の凝灰岩層を挟在する。
65.5m, 69.6mに貝殻を含む。
66.25~67.0m間に、傾斜20~30°の葉理が認められる。
66.7mに、幅3mmの薄い泥層を挟在する。
67.0~67.2m間に白色の小礫が散在する。
67.8~68.5mは砂分が多い。
68.75m, 68.9m, 69.1mに、白褐色を呈する箇所が認められる。
70.15m, 70.4m, 70.7m, 71.15m, 71.5mに、淡褐色の泥質部が認められる。
71.0~71.1mに垂直の生痕。
71.1m付近, 73.55~74.0m, 74.65~75.0mに葉理が発達する。
71.6~71.8m付近に貝殻片を多量に含む。
73.1mに貝殻を含む。
75.2mに白色の礫を混入する。
75.6m, 76.1m, 77.6~77.8mは砂分が多く、葉理が発達する。
75.5~75.8m, 76.4m, 76.7~77.5mに生痕が認められる。
76.4~76.5m, 78.4~78.5mには炭化した木片や有機物, 貝殻片が散在する。
78.3mには淡褐色の泥質部が認められる。
80~90m間は、全体に貝殻片をわずかに含む。
80.05m付近には径φ5mmの軽石を含む。
81.65m付近に黒色の粗砂を多く混入する。
82.8m付近に厚さ3cmの砂層を挟む。
83.4mおよび83.5mに厚さ5cmの砂層を挟む。
84.2m付近には暗色の砂岩の岩塊を混在する。
86.0~86.1mに砂層を挟在する。
86.1~86.4m間は凝灰岩で淡灰色を呈し、層理面の傾斜は約10°。
86.3m付近は生痕が顕著。
86.4m付近の凝灰岩部分には堆積構造の乱れが認められる。
89.4~90.1m間ではやや砂分が多い。

| 深度 (m) | R.Q.D. (%) | 最大コア長 (cm) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|
| 60–61 | 84 | 35 | 100 |
| 61–62 | 100 | 57 | 100 |
| 62–63 | 86 | 28 | 100 |
| 63–64 | 99 | 35 | 100 |
| 64–65 | 100 | 29 | 100 |
| 65–66 | 97 | 22 | 100 |
| 66–67 | 97 | 67 | 100 |
| 67–68 | 96 | 55 | 100 |
| 68–69 | 95 | 31 | 100 |
| 69–70 | 100 | 35 | 100 |
| 70–71 | 85 | 45 | 100 |
| 71–72 | 100 | 58 | 100 |
| 72–73 | 100 | 63 | 100 |
| 73–74 | 93 | 35 | 100 |
| 74–75 | 94 | 47 | 100 |
| 75–76 | 99 | 41 | 100 |
| 76–77 | 100 | 32 | 100 |
| 77–78 | 83 | 35 | 100 |
| 78–79 | 100 | 25 | 100 |
| 79–80 | 92 | 33 | 100 |
| 80–81 | 100 | 27 | 100 |
| 81–82 | 100 | 52 | 100 |
| 82–83 | 92 | 65 | 100 |
| 83–84 | 92 | 23 | 100 |
| 84–85 | 100 | 51 | 100 |
| 85–86 | 87 | 69 | 100 |
| 86–87 | 74 | 39 | 100 |
| 87–88 | 91 | 44 | 100 |
| 88–89 | 100 | 46 | 100 |
| 89–90 | 91 | 36 | 100 |

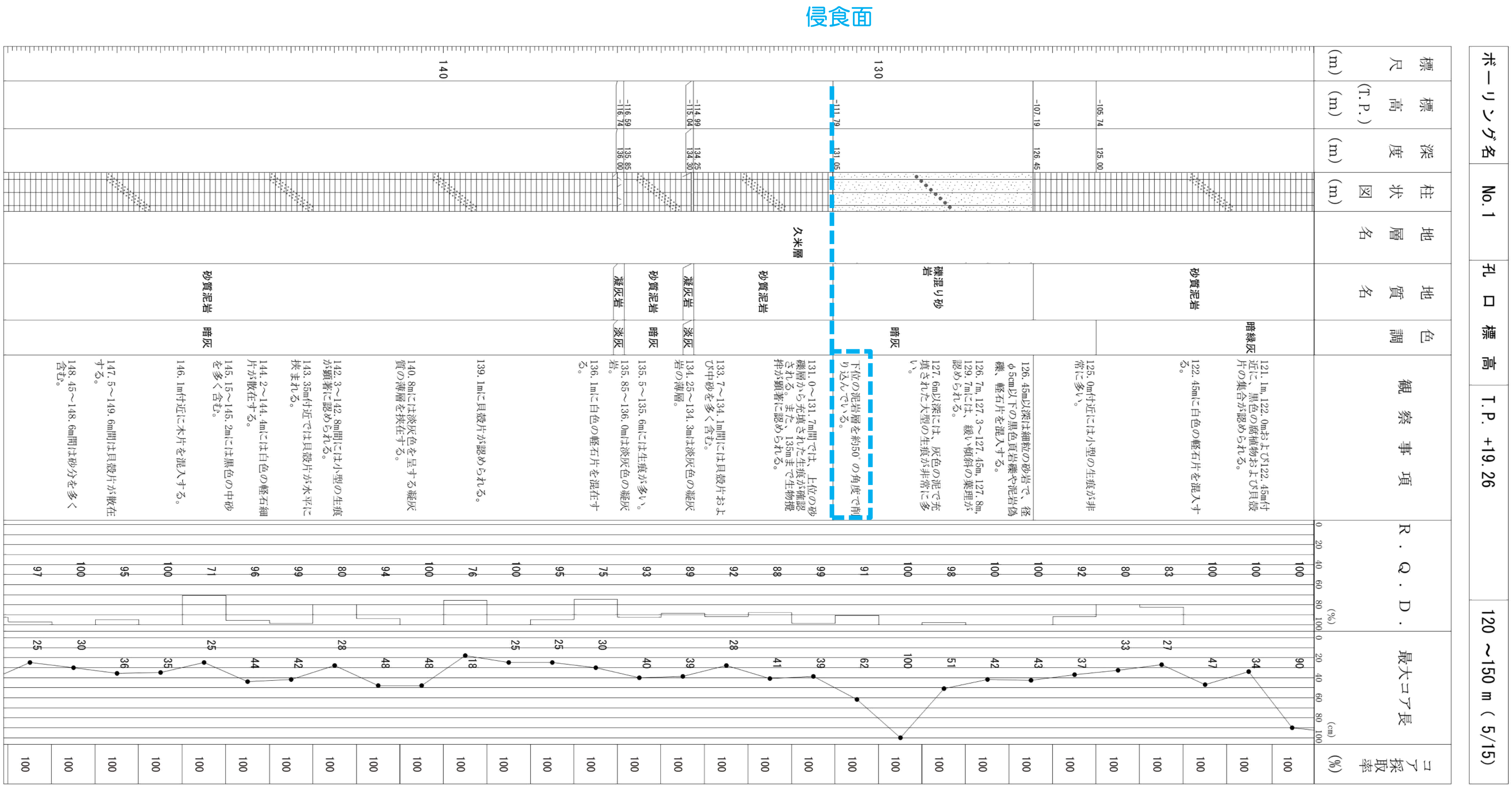
# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲




No.1孔 深度 90～120m

# 地質柱状図 No.1孔

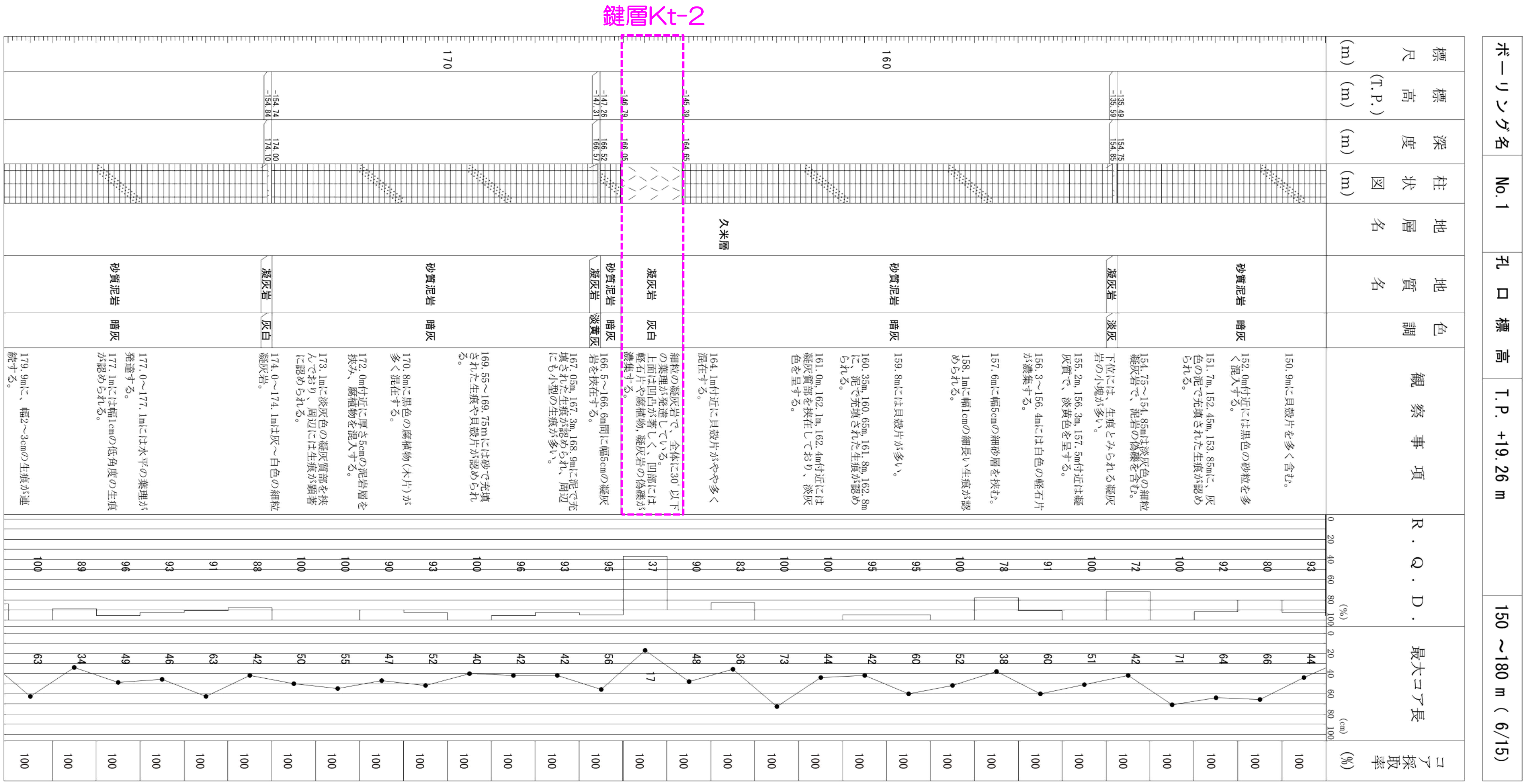



No.1孔 深度 120~150m

# 地質柱状図 No.1孔

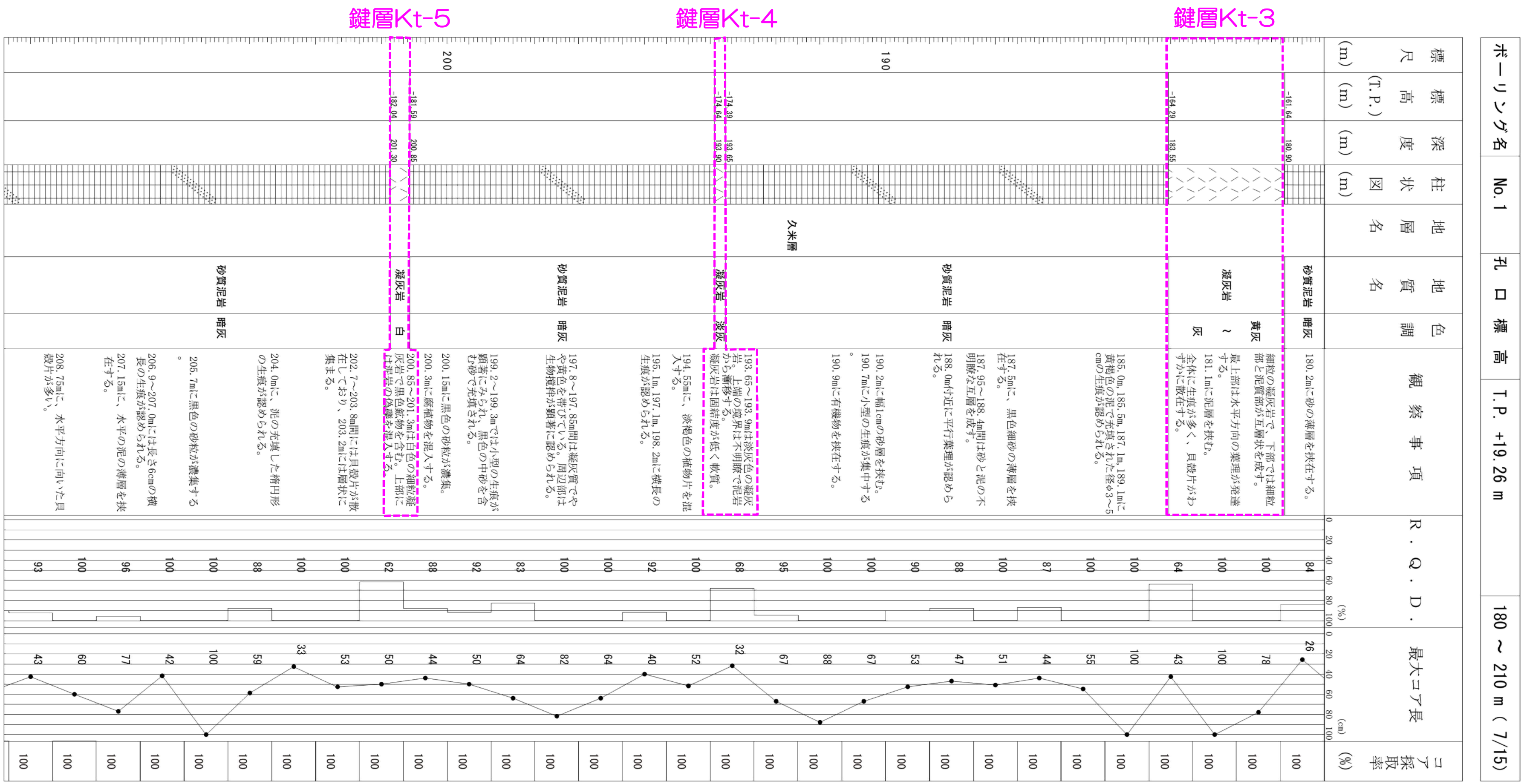
第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

No.1孔 深度 150～180m



# 地質柱状図 No.1孔

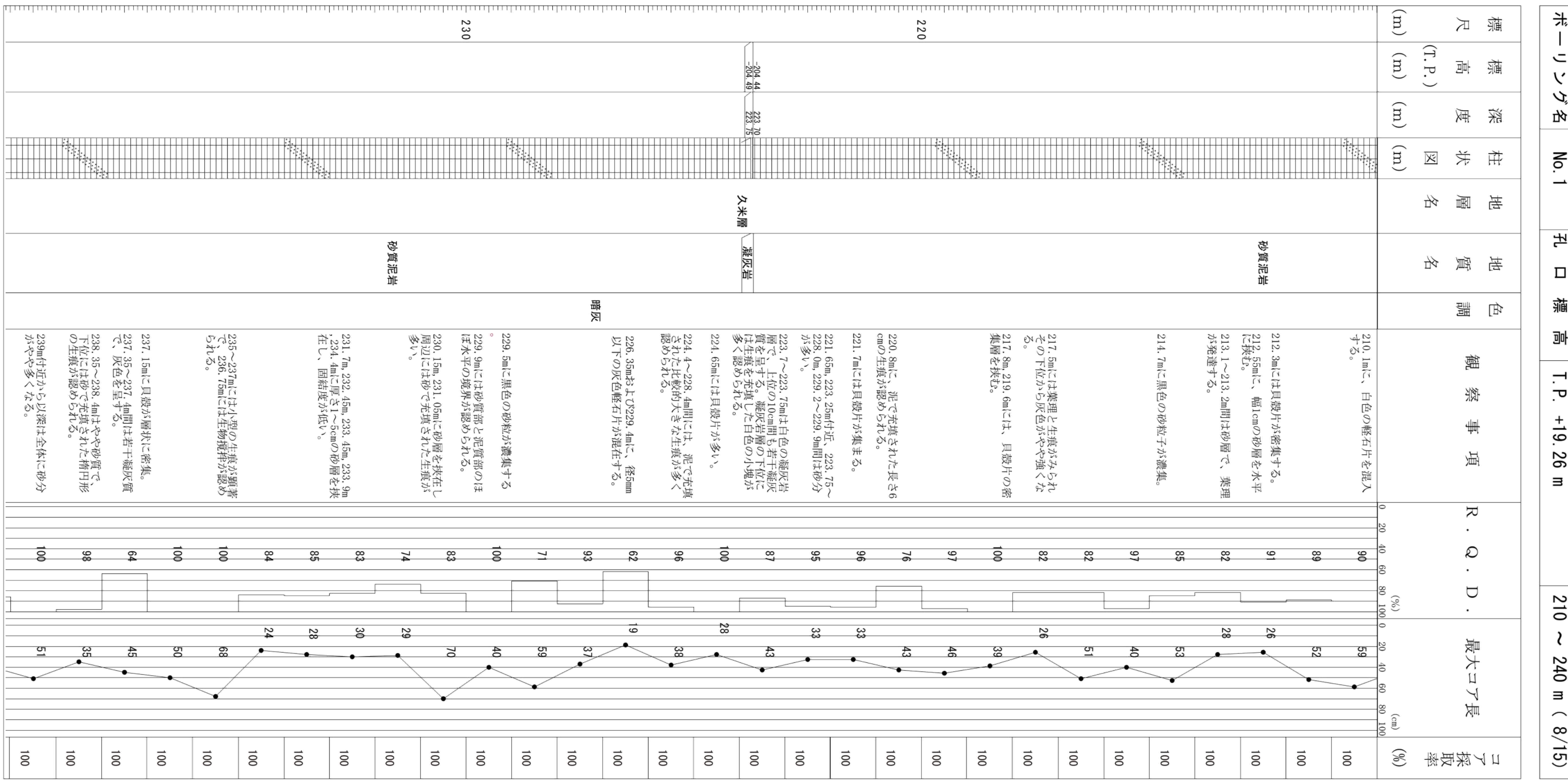
第147回 審査会合
机上配布資料 再掲




No.1孔 深度180~210m

# 地質柱状図 No.1孔

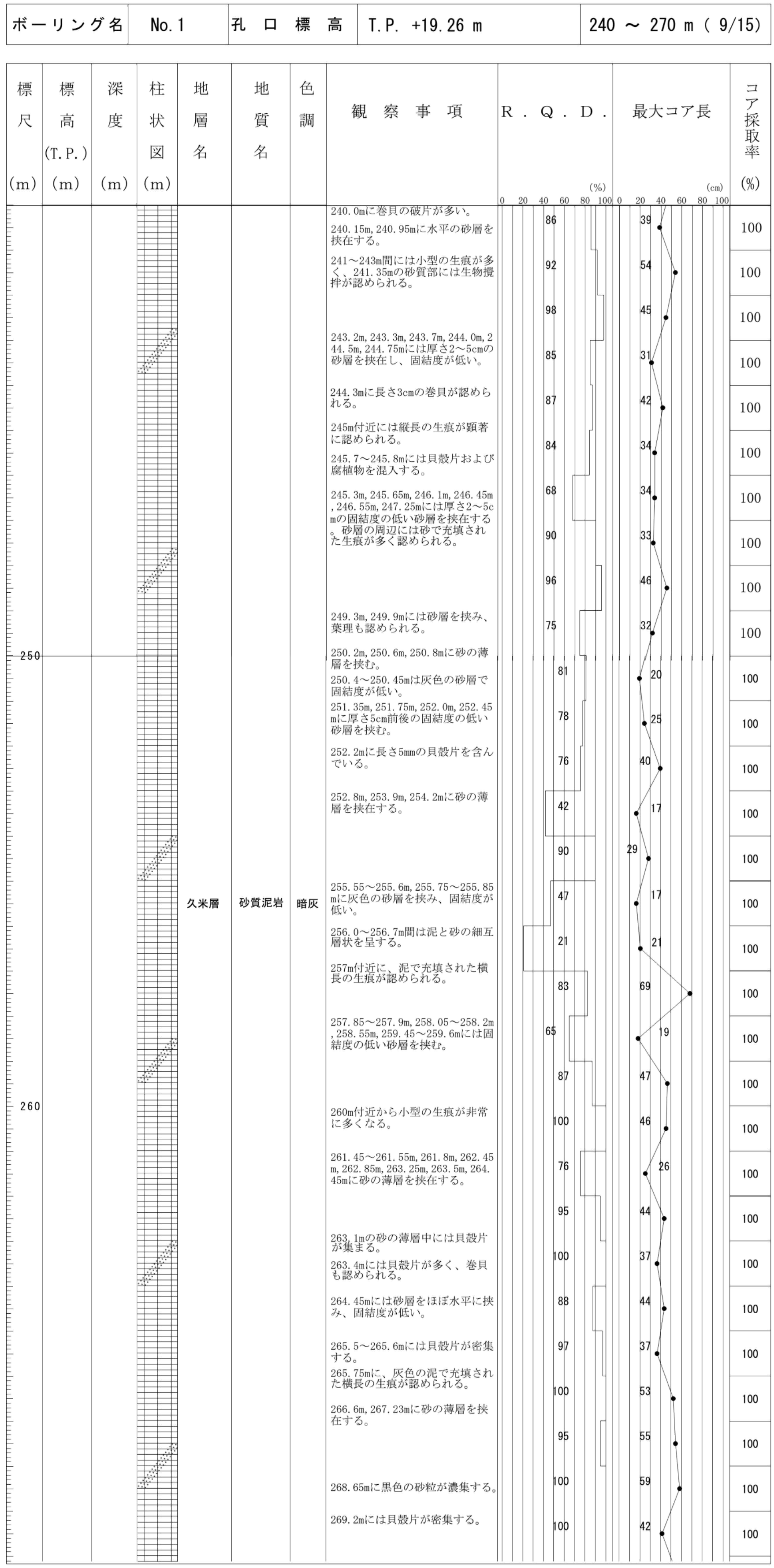
第147回 審査会合
机上配布資料 再掲



# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.1孔　深度 240～270m

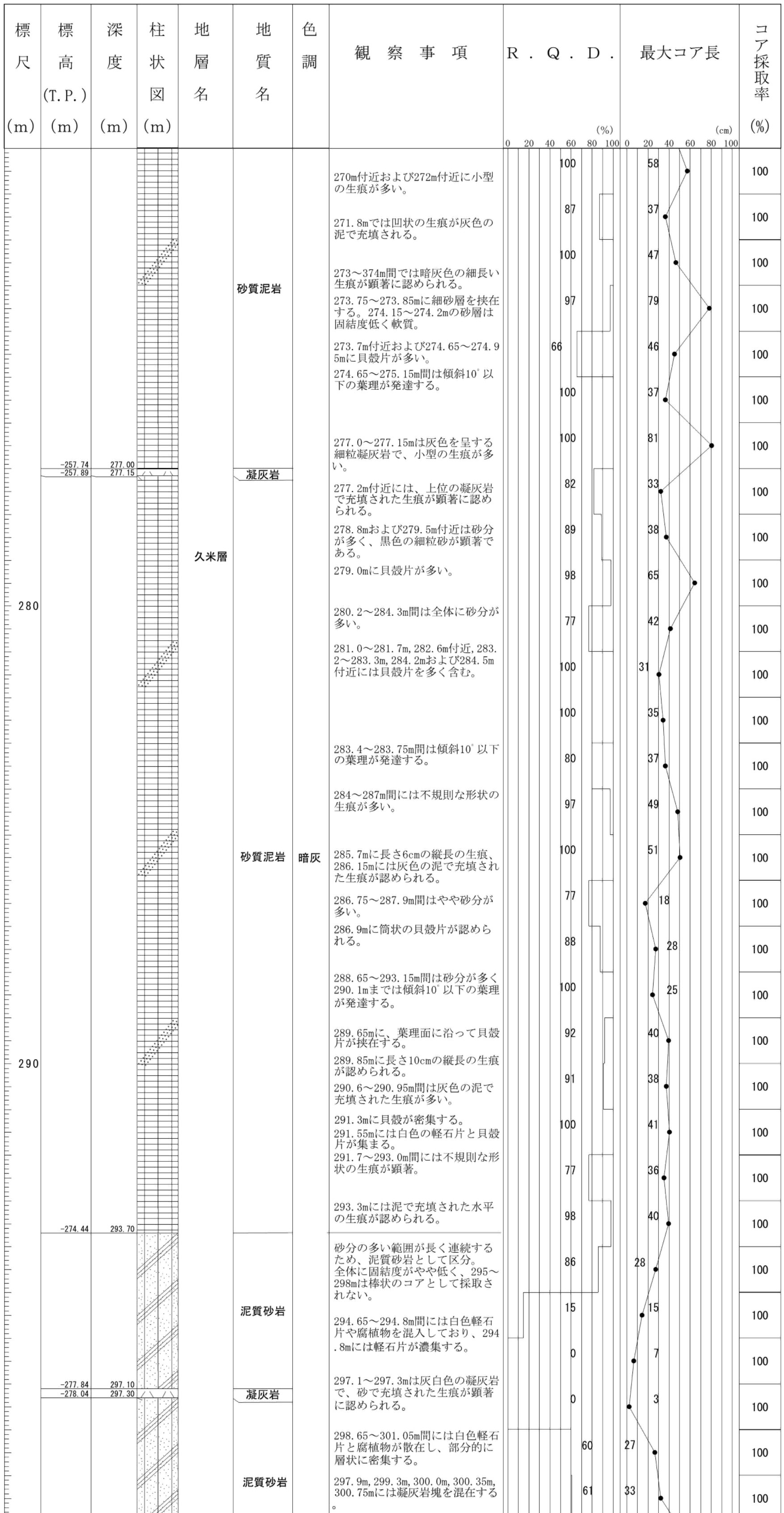


# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

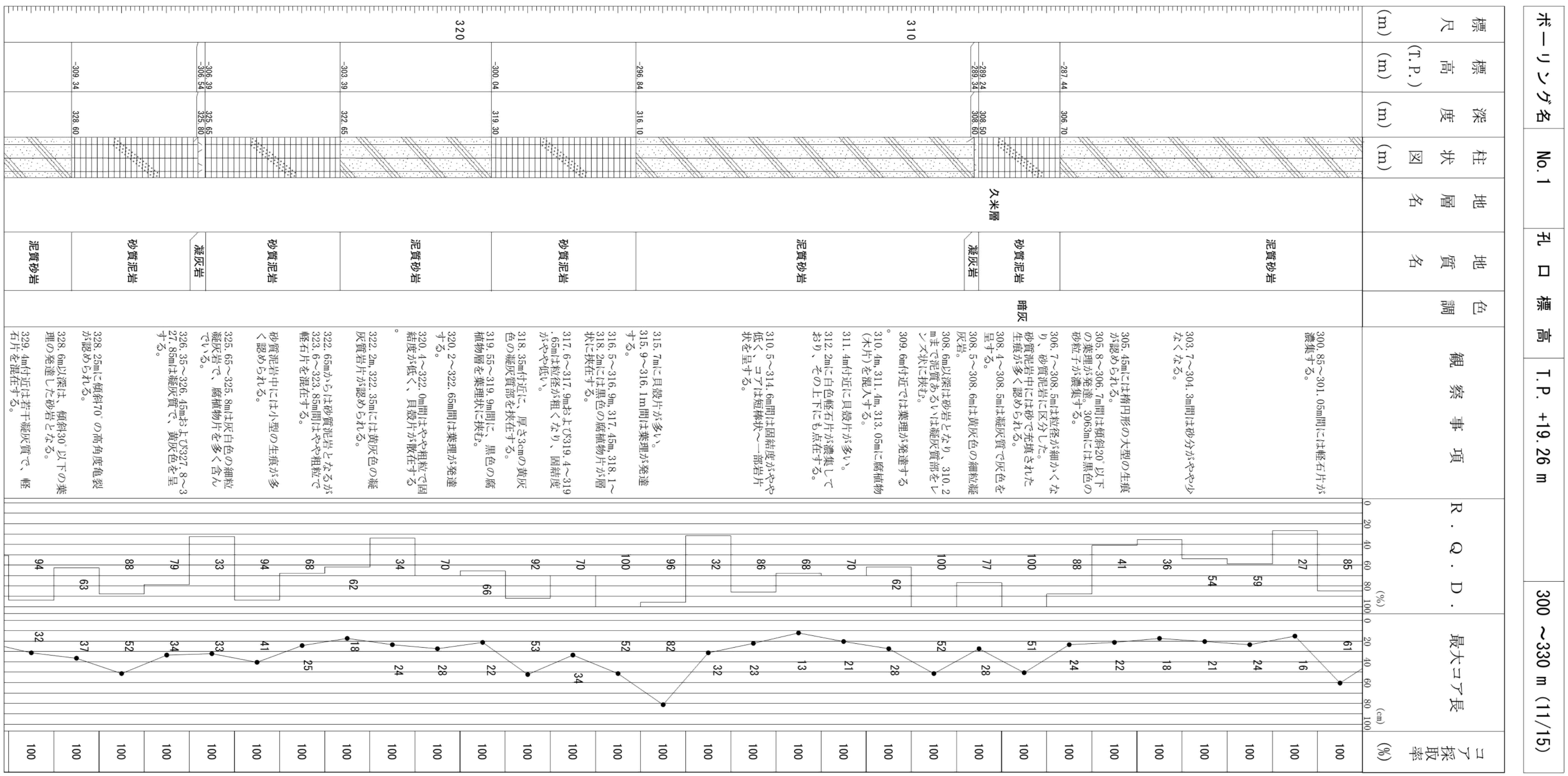
## No.1孔 深度 270～300m

| ボーリング名 | No. 1 | 孔 口 標 高 | T.P. +19.26 m | 270 ～ 300 m (10/15) |
|---|---|---|---|---|



# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲




No.1孔　深度300~330m

# 地質柱状図 No.1孔

## No.1孔　深度 330～360m

| ボーリング名 | No. 1 | 孔口標高 | T.P. +19.26 m | 330 ～360 m (12/15) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 |
|---|---|---|---|---|---|
| 330–338.40 | | | 久米層 | 泥質砂岩 | 暗灰 |
| | -319.14 | 338.40 | | | |
| 338.40–338.50 | -319.24 | 338.50 | 久米層 | 凝灰岩 | 暗灰 |
| 338.50–346.00 | -326.74 | 346.00 | 久米層 | 泥質砂岩 | 暗灰 |
| 346.00–360 | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 |

**観察事項**

330.6m以深は若干粗粒で、固結度がやや低い。
331m以深には小型の生痕が多く認められる。
333.1m付近はやや凝灰質で、黄色を帯びる。
336.1mに径φ1cmの白色軽石片を含む。
337.2mに、長さ1cmの貝殻片を含む。
338.4～228.5m間は灰色の細粒凝灰岩で、小型の生痕が顕著である。
338.8mに黒色の腐植物片を混入する。
340.1mに貝殻片が多い。
340.5m, 341.5m, 342.6m, 343.35m, 343.8m付近はとくに細粒分が少なく、固結度が低い。
341.05mに、泥で充填された長さ5cmの横長の生痕が認められる。
342m付近からやや細粒分が多くなり、小型の生痕も顕著に認められる。
345.45～345.5m間は凝灰質で、淡灰色を呈する。
346m付近から泥岩部分が多くなり、固結度の低い砂岩を挟在する。
346.2m, 346.6m, 348.5m, 348.9m付近は凝灰質で、黄色を帯びる。
346.9mに貝殻片が層状に混入する。
349.2～349.5m間には黒色の腐植物片が多く、薄層状に挟在する。
350.2～350.45m間に、固結度の低い砂の薄層を多く挟む。
351～356m間には、層厚3cm以下の黄色を帯びる凝灰質の挟みが顕著に認められる。
352.1mおよび352.2mには厚さ2～4cmの砂層を挟在し、砂層の下位には砂で充填された径φ3cmの生痕が認められる。
352.8m, 352.9m, 354.8m, 356.05mに砂の薄層を挟む。
353.2mには、長さ2.5cmの二枚貝が認められる。
355.8mには、厚さ3cmの砂層を挟在する。
357.45mには長さ1cmの二枚貝を混入する。
357～359m間には、微小な貝殻片が点在する。
358m以深から、黄色を帯びる凝灰質の薄層を多く挟在する。
359.8mに、砂で充填された楕円形の生痕が認められる。

| 深度 (m) | R.Q.D. (%) | 最大コア長 (cm) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|
| 330–331 | 51 | 22 | 100 |
| 331–332 | 70 | 16 | 100 |
| 332–333 | 100 | 27 | 100 |
| 333–334 | 79 | 30 | 100 |
| 334–335 | 70 | 36 | 100 |
| 335–336 | 87 | 27 | 100 |
| 336–337 | 48 | 18 | 100 |
| 337–338 | 59 | 22 | 100 |
| 338–339 | 51 | 20 | 100 |
| 339–340 | 63 | 23 | 100 |
| 340–341 | 87 | 30 | 100 |
| 341–342 | 73 | 29 | 100 |
| 342–343 | 63 | 19 | 100 |
| 343–344 | 87 | 18 | 100 |
| 344–345 | 82 | 53 | 100 |
| 345–346 | 67 | 37 | 100 |
| 346–347 | 50 | 15 | 100 |
| 347–348 | 100 | 34 | 100 |
| 348–349 | 77 | 35 | 100 |
| 349–350 | 27 | 16 | 100 |
| 350–351 | 62 | 22 | 100 |
| 351–352 | 81 | 29 | 100 |
| 352–353 | 65 | 28 | 100 |
| 353–354 | 100 | 38 | 100 |
| 354–355 | 76 | 42 | 100 |
| 355–356 | 85 | 35 | 100 |
| 356–357 | 86 | 37 | 100 |
| 357–358 | 84 | 37 | 100 |
| 358–359 | 87 | 26 | 100 |
| 359–360 | 100 | 51 | 100 |

# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.1孔 深度 360～390m

| ボーリング名 | No. 1 | 孔口標高 | T.P. +19.26 m | 360 ～390 m (13/15) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|
| 360–390 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 360. 85m, 361. 7m, 363. 0m, 363. 1m, 364. 55mに砂の薄層を挟在する。<br>360. 9m付近には砂で充填された円柱形の生痕が認められる。<br>361. 45～361. 55m間には泥で充填された横長の生痕が多い。<br>361. 7mの砂層中には貝殻片や腐植物片を混入する。<br>365～367m間には、塊状の凝灰質部が多く認められる。<br>366. 5m, 366. 6m, 367. 5m, 368. 2mに厚さ2cm以下の砂層を挟在する。砂層部は固結度が低く容易に削れる。<br>366. 6mおよび367. 5～367. 6mには上位砂層の砂で充填された円～楕円形の生痕が多い。<br>黄灰色の凝灰質部を層状あるいは塊状に顕著に挟む。<br>371. 7～371. 8mには砂層を挟在する。<br>372. 3m, 372. 5mには砂の薄層を挟み、固結度が低い。<br>373. 35mには、砂で充填された生痕が認められる。<br>375. 5m, 376. 2m, 376. 35mに固結度の低い砂層を挟む。<br>376. 1mに黄灰色の凝灰岩礫を混在する。<br>378. 2mに厚さ3cmの砂層を挟み、下位には砂で充填された生痕が多く認められる。<br>378. 8mに厚さ2cmの砂層を挟んでおり、層理面の傾斜は約10°。<br>380. 05m, 381. 25m, 382. 65m, 382. 2mに、固結度の低い砂の薄層を挟在する。<br>381. 35m, 382. 4mに貝殻片を混在する。<br>382. 95mに軽石片を含む。<br>383. 4～383. 45m間は砂層で、下位には砂で充填された生痕が顕著。<br>385. 0mに固結度の低い砂層を挟在する。<br>385. 05mに、長さ2cmの貝殻を含む。<br>386. 25m, 386. 4m, 386. 7m, 387. 5mに砂層を挟み、小型の生痕が多く含まれる。<br>388. 85m, 389. 7mには砂層を挟み周辺には砂で充填された生痕が認められる。<br>389. 55mには、小型の生痕が多く含まれる。 |

| 深度 (m) | R.Q.D. (%) | 最大コア長 (cm) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|
| 360–361 | 93 | 48 | 100 |
| 361–362 | 94 | 33 | 100 |
| 362–363 | 100 | 74 | 100 |
| 363–364 | 97 | 73 | 100 |
| 364–365 | 93 | 33 | 100 |
| 365–366 | 100 | 42 | 100 |
| 366–367 | 81 | 47 | 100 |
| 367–368 | 84 | 35 | 100 |
| 368–369 | 96 | 24 | 100 |
| 369–370 | 84 | 30 | 100 |
| 370–371 | 90 | 40 | 100 |
| 371–372 | 75 | 37 | 100 |
| 372–373 | 89 | 41 | 100 |
| 373–374 | 78 | 29 | 100 |
| 374–375 | 63 | 22 | 100 |
| 375–376 | 100 | 35 | 100 |
| 376–377 | 63 | 40 | 100 |
| 377–378 | 96 | 39 | 100 |
| 378–379 | 89 | 30 | 100 |
| 379–380 | 81 | 61 | 100 |
| 380–381 | 96 | 56 | 100 |
| 381–382 | 97 | 38 | 100 |
| 382–383 | 94 | 43 | 100 |
| 383–384 | 100 | 31 | 100 |
| 384–385 | 96 | 42 | 100 |
| 385–386 | 90 | 25 | 100 |
| 386–387 | 95 | 28 | 100 |
| 387–388 | 97 | 28 | 100 |
| 388–389 | 76 | 30 | 100 |
| 389–390 | 100 | 39 | 100 |

# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.1孔　深度 390～420m

| ボーリング名 | No. 1 | 孔 口 標 高 | T.P. +19.26 m | 390 ～420 m (14/15) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 |
|---|---|---|---|---|---|
| 400 | -371.49 | 390.75 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 |
| 410 | -386.84 | 406.10 | | 砂質泥岩と砂岩の互層 | |
| | | | | 砂質泥岩 | |

### 観察事項

390.55～390.65mに砂で充填された細長い生痕が認められる。

390.75m以深から、固結度の低い砂層を多く挟む。

390.75～390.95m, 391.45m, 391.9m, 392.35m, 392.65m, 393.25m, 393.75～393.85m, 394.15m, 394.6～394.9mに、厚さ1～8cmの砂層を挟在する。

393.55mに貝殻片混入。

395.9m, 396.2m, 396.85m, 397.1mに、厚さ3～5cmの砂層を挟む。

397.3～397.45m間は厚さ15cmの砂層。

397.45m以深から、塊状の黄灰色凝灰質部を多く挟在する。

397.65m, 398.25mに厚さ3cmの砂層。

398.7～399.15m間は厚い砂層で軟質である。

399.7～399.8mに貝殻片が多く含まれる。

400.2m, 400.5m, 400.6mに厚さ1～5cmの砂層を挟む。

401.2～401.4mおよび402.0～402.35m間は固結度の低い軟質な砂層。

402.5m付近に腐植物を多く混入しており、一部は層状に挟まれる。

403.55m, 403.75m, 404.65m, 404.85mに厚さ2～4cmの砂層を挟む。

403.9mに長さ2cmの貝殻を混在する。

405.7～405.8m, 406.0～406.1mに固結度の低い砂層を挟む。

406.1m以深は緩い砂層をほとんど挟まなくなる。

407.2mに腐植物片を混入する。

407.15～409.1m間には斜交葉理が発達し、貝殻片が散在している。また、塊状の凝灰質岩片を多く混在する。

410.25mおよび410.6mに、生痕と思われる塊状の砂が認められる。

410.85mに砂の薄層を挟在する。

411.6mに、泥で充填された径φ4cmの生痕が認められる。

412.8mに腐植物を多く混入している。

413.6～414.0m間には貝殻片がやや多い。

415m付近から以深では、淡灰色の砂で充填された小型の生痕が顕著に認められる。

415.5m以深は長棒状のコアが連続する。

415.5～415.6m間には腐植物片が多く含まれる。

418.3m以深には貝殻片が多い。とくに418.4m付近および419.6～420.1mには貝殻片が濃集する。

419.7～419.8mには腐植物片が多い。

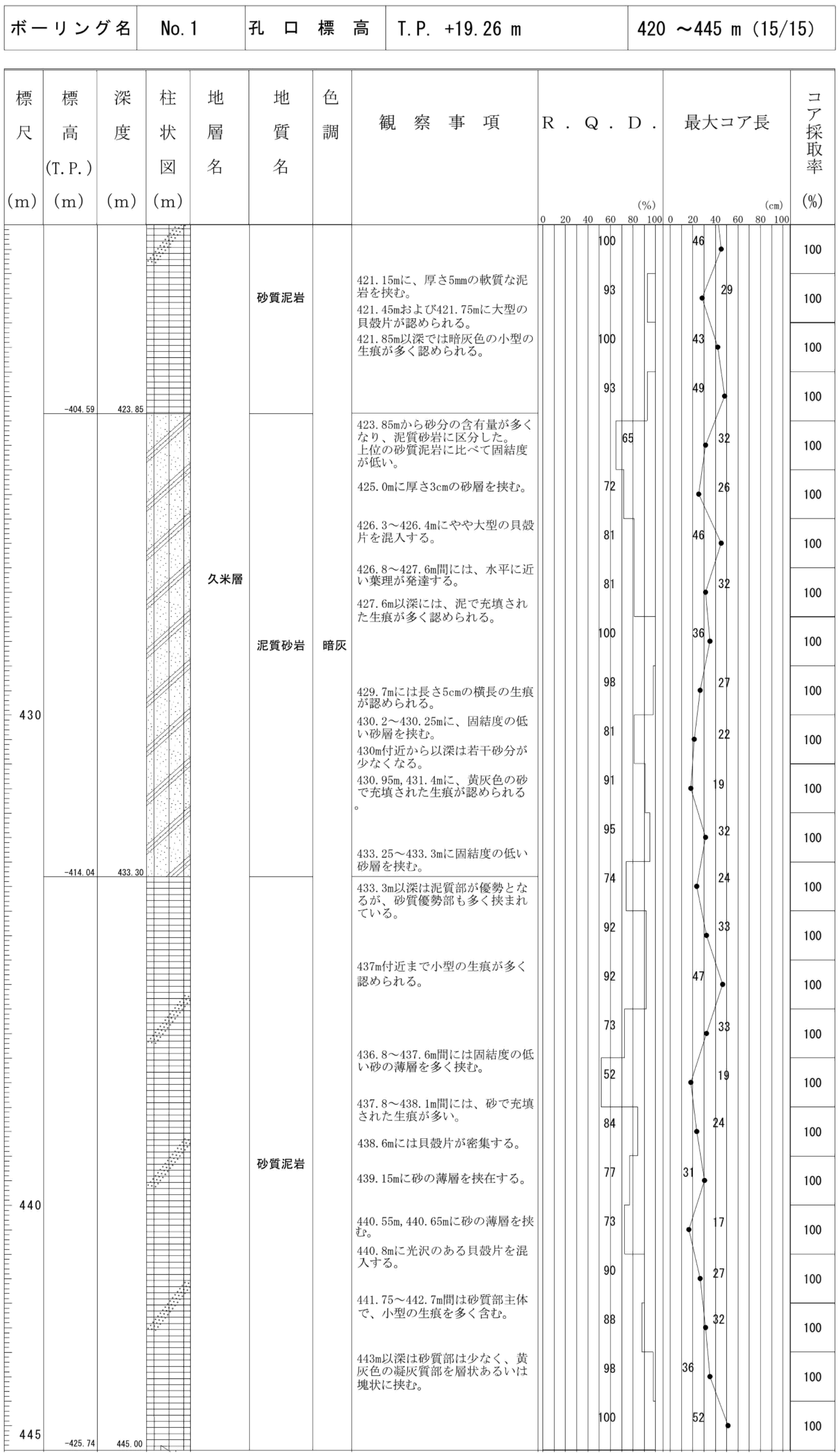
### R.Q.D.(%)・最大コア長(cm)・コア採取率(%)

| R.Q.D. (%) | 最大コア長 (cm) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 81 | 28 | 100 |
| 58 | 25 | 100 |
| 80 | 31 | 100 |
| 68 | 25 | 100 |
| 59 | 14 | 100 |
| 90 | 40 | 100 |
| 63 | 24 | 100 |
| 51 | 21 | 100 |
| 54 | 36 | 100 |
| 56 | 30 | 100 |
| 77 | 32 | 100 |
| 43 | 19 | 100 |
| 63 | 15 | 100 |
| 52 | 23 | 100 |
| 83 | 31 | 100 |
| 91 | 31 | 100 |
| 61 | 26 | 100 |
| 100 | 52 | 100 |
| 92 | 63 | 100 |
| 55 | 32 | 100 |
| 85 | 44 | 100 |
| 98 | 85 | 100 |
| 64 | 29 | 100 |
| 100 | 50 | 100 |
| 95 | 50 | 100 |
| 86 | 44 | 100 |
| 100 | 38 | 100 |
| 100 | 58 | 100 |
| 94 | 34 | 100 |
| 100 | 41 | 100 |

# 地質柱状図 No.1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

No.1孔 深度 420～445m



# No.7孔

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔 深度 0～30m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P.+ 19. 22m | 0 ～ 30 m ( 1/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 19. 12 | 0. 10 | | 表土 | 黒灰 | 0. 00～0. 10mは径φ1～4cmの砕石。 |
| 17. 52 | 1. 70 | | ローム | 茶褐 | 0. 10～1. 70mは均質、粘性あり。下部粘土質。 |
| 16. 47 | 2. 75 | | 凝灰質粘土 | 黄灰褐 | 1. 70～2. 75mは所々に砂分を混入する。粘性は強い。 |
| 14. 32 | 4. 90 | M 2 段丘堆積物 | 粘土混り砂礫 | 黄灰 | 2. 75～4. 90mは全体に軽石を混入し凝灰質。<br>礫径φ0. 5～1cm、最大径φ5cm程度で礫量は少ない。 |
| 14. 07 | 5. 15 | M 2 段丘堆積物 | 粘土 | 黄灰 | 4. 90～5. 15mは砂礫を混入する。 |
| 13. 62 | 5. 60 | M 2 段丘堆積物 | 砂礫 | 黄灰 | 5. 15～5. 60mは粘土を含む。 |
| 12. 22 | 7. 00 | M 2 段丘堆積物 | 礫混り粘土質シルト | 灰褐 | 6. 30～6. 50mは砂礫を多く混入する。 |
| 9. 62 | 9. 60 | M 2 段丘堆積物 | 粘土混り砂礫 | 黄褐 | 7. 00～9. 60mは軽石粒を混入し凝灰質。礫径φ0. 5～1cm、最大径φ5cm。下部は礫径大きくなる。 |
| 8. 62 | 10. 60 | M 2 段丘堆積物 | 砂質シルト | 黄褐 | 9. 60～10. 60mは砂分が多い。 |
| | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | 10. 60～11. 00mは非常に軟質。<br>12. 80～13. 20mは黄褐色を呈し軟質である。<br>13. 00～56. 00m付近は砂分の混入が非常に多い。<br>22. 00～23. 00mは非常に軟質。<br>22. 50m付近は中砂を混入する。<br>全体に軟質で120. 00m付近までほぼ同じ硬さである。 |

標尺 (m): 10, 20

コア採取率 (%)（1mごと、0～30m）:

| 深度 (m) | コア採取率 (%) |
|---|---|
| 0～1 | 100 |
| 1～2 | 100 |
| 2～3 | 100 |
| 3～4 | 100 |
| 4～5 | 100 |
| 5～6 | 100 |
| 6～7 | 100 |
| 7～8 | 100 |
| 8～9 | 100 |
| 9～10 | 100 |
| 10～11 | 100 |
| 11～12 | 100 |
| 12～13 | 100 |
| 13～14 | 50 |
| 14～15 | 50 |
| 15～16 | 100 |
| 16～17 | 100 |
| 17～18 | 100 |
| 18～19 | 100 |
| 19～20 | 100 |
| 20～21 | 100 |
| 21～22 | 100 |
| 22～23 | 100 |
| 23～24 | 100 |
| 24～25 | 100 |
| 25～26 | 100 |
| 26～27 | 100 |
| 27～28 | 100 |
| 28～29 | 100 |
| 29～30 | 100 |

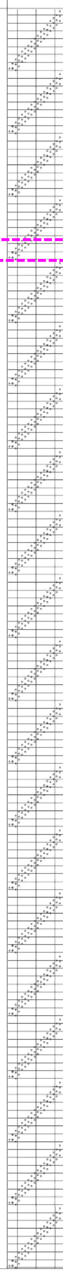
# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔　深度 30～60m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 30 ～ 60 m ( 2/12) |
|---|---|---|---|---|

鍵層②



| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 35. 50～36. 00m付近は凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 38. 90～39. 20mは凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| 40 | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 48. 50m付近は特に砂分が多い。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| 50 | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 56. 00m付近は砂分が少なくなる。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

## No.7孔　深度 60～90m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 60 ～ 90 m ( 3/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 60. 00～62. 00mは凝灰質。<br>60. 50～60. 60mは茶褐色の炭化物を含む。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 64. 70m付近は厚さ10cmの凝灰質細砂薄層を挟む。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 66. 65mで貝殻片（二枚貝）を混入する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 69. 10m付近は凝灰質。 | 100 |
| 70 | | | | | | | 70. 00m付近はやや硬い。<br>70. 00～71. 00mは砂分をほとんど含まない。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 79. 00m付近は凝灰質。 | 100 |
| 80 | | | | | | | 80. 00m付近は凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 85. 50～86. 00mは所々で凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

## No.7孔 深度 90～120m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 90 ～ 120 m ( 4/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 94. 80m付近で砂分がやや多くなる。<br>軟質で所々雲母、巻貝を混入する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| 100 | | | | | | | 100. 00m付近は砂分が特に多い。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 102. 00m付近は貝殻（二枚貝）を混入する。<br>102. 00～103. 00m付近は雲母を多く混入する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| 110 | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 111. 20m付近は白灰色の火山灰を混入する。 | 100 |
| | | | | | | | 112. 40m付近は砂分が少なくなる。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 50 |

# 地質柱状図 No.7孔

## No.7孔　深度 120～150m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 120 ～ 150 m ( 5/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | -101. 78 | 121. 00 | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | 120. 00～121. 00mは凝灰質。<br>120. 90～121. 00mは珪化作用を受け非常に硬い。 | 100 |
| | | | | 凝灰岩 | 白灰 | 粒子は細粒でシルトを主体とする。非常に軟質である。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 82 |
| | -107. 18 | 126. 40 | | 砂質泥岩 | 緑灰 | 126. 40m付近は硬くなり、250. 00m付近までほぼ同じ硬さである。 | 82 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| 130 | | | | | | 129. 70～131. 20mは凝灰質で非常に軟質。 | 24 |
| | | | | | | | 24 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 133. 50～135. 00mは亀裂が多い。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 137. 50～138. 20mは所々で火山灰を混入し、非常に軟質。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| 140 | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | 147. 50～147. 80mに亀裂あり。 | 100 |
| | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔　深度 150～180m

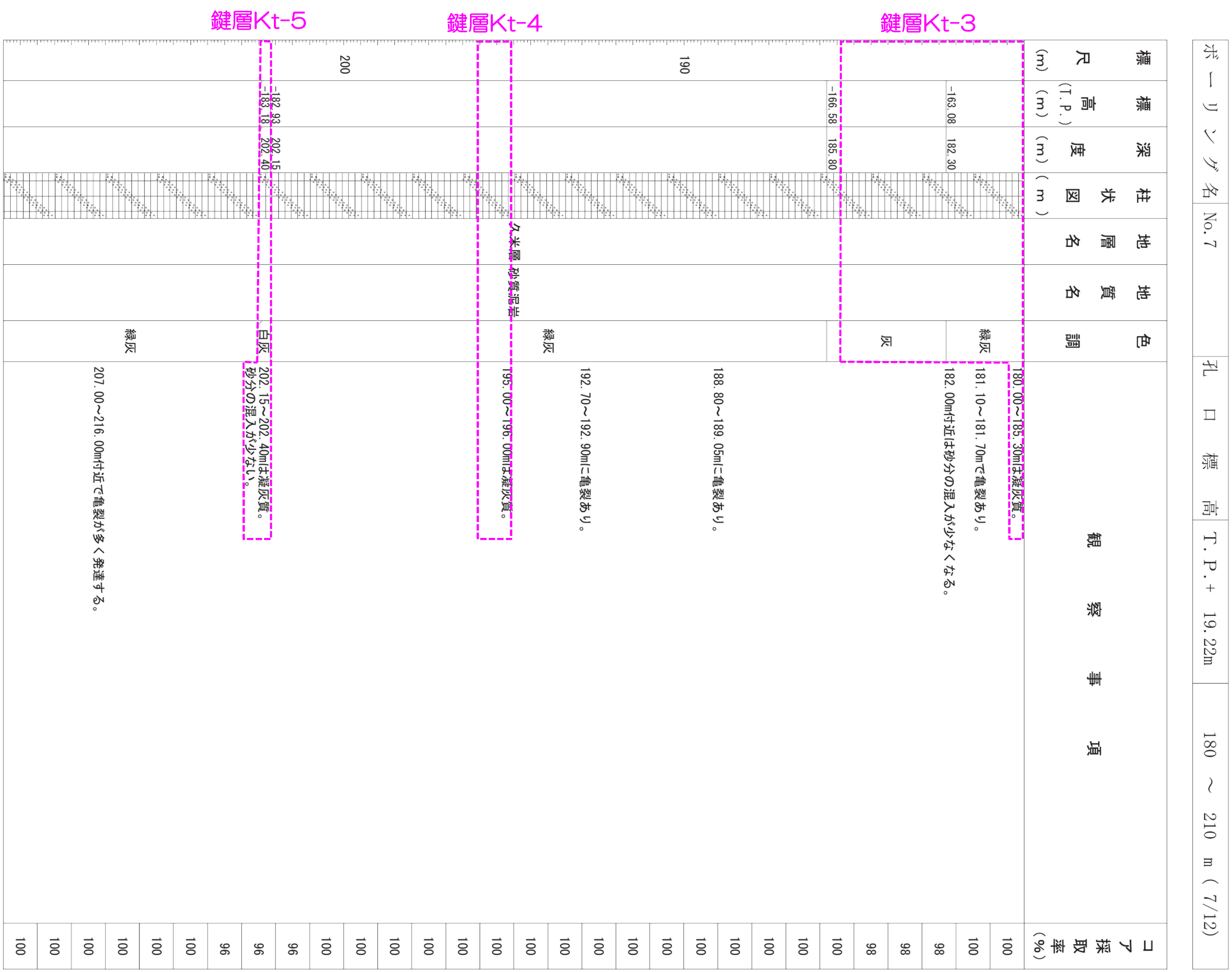
| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 150 ～ 180 m ( 6/12) |
|---|---|---|---|---|

鍵層Kt-2

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 150. 00～151. 30mは凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 155. 00～155. 65mは凝灰質で軟質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 159. 70m付近は凝灰質。<br>貝殻片（二枚貝）を混入する。 | 100 |
| 160 | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 20 |
| | | | | | | | 167. 00mは凝灰質。 | 20 |
| | | | | | | | | 20 |
| | | | | | | | 169. 70～169. 90mは凝灰質。 | 100 |
| 170 | | | | | | | 170. 70m付近で砂分の混入が多くなる。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 173. 50m付近は有機質。 | 100 |
| | | | | | | | 174. 00m付近は凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲




No.7孔 深度 180～210m

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔　深度 210～240m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 210 ～ 240 m ( 8/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 218. 90～219. 20mは砂分をほとんど含まない。<br>219. 65～220. 00mは所々砂分を多く混入する。 | 100 |
| 220 | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 228. 00～235. 00mは砂分を多く混入する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| 230 | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 232. 30～232. 40mは凝灰質で非常に軟質。<br>232. 40～233. 00mは固結度の低い細砂を主体とする。 | 92 |
| | | | | | | | | 44 |
| | | | | | | | 234. 00～234. 10mは細砂状を呈する。 | 96 |
| | | | | | | | | 96 |
| | | | | | | | | 72 |
| | | | | | | | 236. 90～237. 40mは凝灰岩を挟む。 | 72 |
| | | | | | | | | 72 |
| | | | | | | | | 72 |

# 地質柱状図 No.7孔

## No.7孔　深度 240～270m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 240 ～ 270 m ( 9/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 250, 260 | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | 240. 00～244. 00mは砂分の混入が多い。<br>251. 20m付近は貝殻が多い。<br>253. 30～254. 00mは所々未固結の細砂を挟む。<br>260. 00m付近よりさらに硬くなり、353. 50mまでほぼ同じ硬さである。<br>260. 50～261. 40mは所々斑点状に灰色の火山灰を混入する。<br>264. 70～286. 55は所々亀裂が発達する。 |

コア採取率 (%)（上から順に）:

| コア採取率 (%) |
|---|
| 88 |
| 96 |
| 96 |
| 96 |
| 98 |
| 98 |
| 98 |
| 42 |
| 42 |
| 72 |
| 72 |
| 100 |
| 100 |
| 72 |
| 72 |
| 52 |
| 52 |
| 52 |
| 100 |
| 92 |
| 92 |
| 92 |
| 92 |
| 100 |
| 98 |
| 98 |
| 98 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔　深度 270～300m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 270 ～ 300 m ( 10/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | |
| | -259. 18 | 278. 40 | | | | | |
| | -259. 48 | 278. 70 | | | | 灰 | 278. 40～278. 70mは凝灰質で非常に軟質。 |
| 280 | | | | | | 緑灰 | 281. 15～283. 50mは砂分が多い。 |
| | | | | | | | 282. 90～285. 00mは貝殻片を多く混入する。 |
| | | | | | | | 287. 55m付近は未固結の細砂を挟在する。 |
| 290 | | | | | | | 290. 20～301. 40mは砂分を多く混入する。 |
| | | | | | | | 292. 00～295. 00mは貝殻片（二枚貝）を多く混入する。 |
| | | | | | | | 295. 35～295. 60mに亀裂あり。 |

コア採取率 (%)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔　深度 300～330m

| ボーリング名 | No.7 | 孔口標高 | T.P.+ 19.22m | 300 ～ 330 m ( 11/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 310, 320 | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | 302.60～302.80m, 303.50～304.10mに亀裂あり。<br>307.00～314.00mは砂分を多く混入する。<br>307.00～307.30m, 307.80～308.00, 308.15～308.50mに亀裂あり。<br>311.80～312.00mに亀裂あり。<br>314.00～314.20mに亀裂あり。<br>316.80m付近は凝灰質。<br>318.80～321.00mは砂分を多く混入する。<br>319.60～319.80mに亀裂あり。<br>321.00m付近は炭化物を混入する。<br>322.80～325.00mは砂分を多く混入する。<br>326.45～326.70mに亀裂あり。<br>326.70～331.00mは砂分を多く混入する。<br>328.15m付近, 328.80m付近, 329.10～330.00mで粗砂および小礫を混入する。<br>329.40m付近は未固結で細砂状を呈する。 |

| コア採取率 (%) |
|---|
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 54 |
| 54 |
| 54 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 94 |
| 94 |
| 94 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 96 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 100 |
| 98 |
| 98 |
| 98 |
| 100 |

# 地質柱状図 No.7孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.7孔 深度 330〜353m

| ボーリング名 | No. 7 | 孔口標高 | T. P. + 19. 22m | 330 〜 353 m ( 12/12) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 330. 00〜331. 00mは貝殻片を多く混入する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 336. 00〜336. 15mに亀裂あり。<br>336. 00〜336. 60mは所々に炭化物を混入する。 | 100 |
| | | | | | | | 336. 30m付近は砂分が多い。<br>337. 25〜337. 50に亀裂あり。 | 100 |
| | | | | | | | | 96 |
| | | | | | | | 339. 50〜353. 50mは砂分を多く混入する。 | 96 |
| 340 | | | | | | | | 96 |
| | | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 緑灰 | 341. 00〜341. 30mに亀裂あり。<br>341. 60〜341. 90m, 342. 55m付近, 342. 75m付近, 343. 30m付近は凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | | | | | | | 343. 70〜343. 80mに亀裂あり。 | 100 |
| | | | | | | | | 98 |
| | | | | | | | 345. 40m付近は未固結で細砂状を呈する。 | 98 |
| | | | | | | | 346. 90m付近、347. 30m付近は凝灰質。 | 98 |
| | | | | | | | | 98 |
| | | | | | | | 348. 65〜348. 85mは凝灰質。 | 100 |
| | | | | | | | 349. 20m付近は凝灰質。<br>349. 55〜349. 65mに亀裂あり。<br>349. 80m付近は凝灰質。 | 100 |
| 350 | | | | | | | 350. 45〜350. 70mに亀裂あり。<br>所々灰褐色の凝灰岩の薄層 (2〜5cm) を挟在する。 | 100 |
| | | | | | | | | 100 |
| | -333. 78 | 353. 00 | | | | | 352. 60〜352. 80mに亀裂あり。 | 100 |

# No.8孔

# 地質柱状図 No.8孔

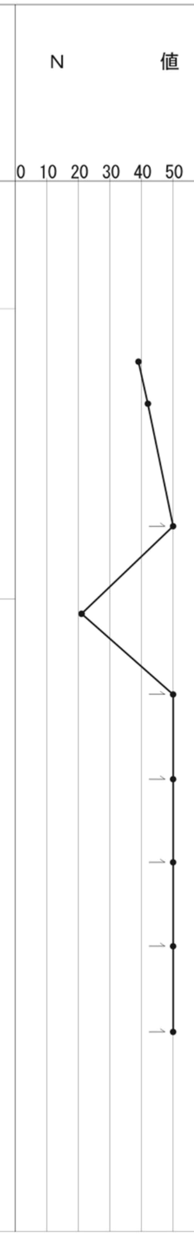
第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.8孔　深度 0～25m

| ボーリング名 | No. 8 | 孔口標高 | T. P. + 19. 64m | 0 ～ 25 m ( 1/1 ) |
|---|---|---|---|---|

| 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 19. 44 | 0. 20 | | 表土 | 黄灰 | 0. 00～0. 20mは砂質土からなる表土。 |
| 17. 04 | 2. 60 | | ローム | 茶褐 | 0. 20～2. 60mは粘土質。 |
| 16. 69 | 2. 95 | M 2 段丘 堆積物 | 凝灰質粘土 | 灰 | 2. 60～2. 95mは凝灰質粘土。 |
| 13. 74 | 5. 90 | | 粘土混り砂礫 | 黄灰 | 2. 95～5. 90mは小礫、粗砂を主体とする。礫径は最大φ5cm。 |
| 13. 19 | 6. 45 | | 粘土 | 茶黄灰 | 5. 90～6. 45mは凝灰質で、粘性が高い。 |
| 9. 69 | 9. 95 | | 粘土混り砂礫 | 茶灰 | 6. 45～9. 95mは礫に風化が見られるが硬質なものも認められる。礫径はφ1～3cm、最大でφ6cm。 |
| -5. 36 | 25. 00 | 久米層 | 砂質泥岩 | 茶灰～暗青灰 / 暗灰 | 9. 95～10. 60mは久米層の風化帯で軟質である。<br>10. 60～25. 00mは全体に細砂を含む砂質泥岩。<br>11. 15～11. 25mはシルト質細砂を挟む。<br>15. 80～15. 90mはシルト質細砂。<br>20. 00m付近で貝殻 を混入する。<br>23. 00m付近より砂分の混入が多い。 |

標尺 (m): 10, 20



## (3)-1孔

# 地質柱状図 （3）-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## （3）-1孔 深度 0～30m

| ボーリング名 | No. (3)-1 | 孔口標高 | T. P.+ 8.15m | 0 ～ 30 m (1/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7.55 | 0.60 | 砂丘砂層 | 粗砂 | 暗褐灰 | 0.00～0.60mは粗砂を主体とする。 |
| 0.10 | 8.05 | 砂丘砂層 | 細砂 | 暗褐灰 | 0.60～8.05mは細砂を主体とする。 |
| -1.65 | 9.80 | 沖積層 | 砂礫 | 暗茶 | 8.05～9.80mは砂礫からなる。 |
| -2.35 | 10.50 | 沖積層 | 中砂 | 暗褐灰 | 9.80～10.50mは中砂からなる。 |
| -2.67 | 10.82 | 沖積層 | 砂礫 | 茶褐 | 10.50～10.82mは砂礫からなる。 |
| -3.70 | 11.85 | 沖積層 | 中砂 | 暗灰 | |
| -14.83 | 22.98 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 11.85mから基盤岩の久米層となる。<br>全体に砂質で砂層の薄層を所々に挟む。<br>20.61～20.73mで灰色凝灰岩を挟む。<br>20.66～20.84mでノジュールを含む。<br>21.66～22.00mで細粒砂岩を挟む。<br>22.30～22.98mで細粒砂岩を挟む。 |
| -16.88 | 25.03 | 久米層 | 砂質泥岩と細粒砂岩の互層 | 暗灰 | |
| | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 27.40～27.60m, 28.55～28.65m, 30.20～30.45m, 30.83～30.98mで生痕化石が多い。 |

| 深度 (m) | RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 11.85～12 | | 100 |
| 12～13 | | 100 |
| 13～14 | [ 52] | 100 |
| 14～15 | [100] | 100 |
| 15～16 | [ 90] | 100 |
| 16～17 | [ 72] | 100 |
| 17～18 | [ 88] | 100 |
| 18～19 | [ 85] | 100 |
| 19～20 | [ 94] | 100 |
| 20～21 | [ 81] | 100 |
| 21～22 | [ 74] | 100 |
| 22～23 | [ 69] | 100 |
| 23～24 | [ 59] | 100 |
| 24～25 | [ 85] | 100 |
| 25～26 | [ 71] | 100 |
| 26～27 | [ 96] | 100 |
| 27～28 | [100] | 100 |
| 28～29 | [ 41] | 100 |
| 29～30 | [ 60] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## （3）-1孔 深度 30～60m

| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 30 ～ 60 m ( 2/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| -22.83 | 30.98 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 30.83～30.98mで細粒砂岩を挟む。 |
| -24.48 | 32.63 | 久米層 | 泥岩 | 暗灰 | |
| -32.55 | 40.70 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 32.63～32.74mで細粒砂岩を挟む。<br>32.89m, 33.93m, 35.19m, 36.23m, 36.64m, 39.53m, 40.54mに貝殻片を含む。 |
| -37.09 | 45.24 | 久米層 | 泥質細粒砂岩 | 暗灰 | 砂質泥岩に近い層相で、上位との境界は不鮮明（漸移的）である。<br>42.82～42.84mで凝灰岩のレンズ状薄層を挟む。<br>42.47m, 44.90～45.00mで貝殻を含む。 |
| -45.42 | 53.57 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 鍵層②<br>47.57m, 47.70～47.90m, 47.97～48.60m, 49.10～49.80mは軽石を多く含む。 |
| -46.90 | 55.05 | 久米層 | 泥質細粒砂岩 | 暗灰 | 53.45mで軽石を含む。<br>泥質で砂質泥岩に近い層相を示す。 |
| | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰～灰 | |

| 標尺 (m) | RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 30–31 | [ 95] | 100 |
| 31–32 | [ 96] | 100 |
| 32–33 | [ 84] | 100 |
| 33–34 | [ 73] | 100 |
| 34–35 | [ 98] | 100 |
| 35–36 | [ 95] | 100 |
| 36–37 | [ 85] | 100 |
| 37–38 | [ 95] | 100 |
| 38–39 | [ 55] | 100 |
| 39–40 | [ 88] | 100 |
| 40–41 | [100] | 100 |
| 41–42 | [ 72] | 100 |
| 42–43 | [ 95] | 100 |
| 43–44 | [ 97] | 100 |
| 44–45 | [ 68] | 100 |
| 45–46 | [ 85] | 100 |
| 46–47 | [ 45] | 100 |
| 47–48 | [ 53] | 100 |
| 48–49 | [ 80] | 100 |
| 49–50 | [ 55] | 100 |
| 50–51 | [ 82] | 100 |
| 51–52 | [ 94] | 100 |
| 52–53 | [ 72] | 100 |
| 53–54 | [ 89] | 100 |
| 54–55 | [100] | 100 |
| 55–56 | [ 94] | 100 |
| 56–57 | [ 72] | 100 |
| 57–58 | [100] | 100 |
| 58–59 | [ 79] | 100 |
| 59–60 | [ 77] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

## （3）-1孔 深度 60～90m

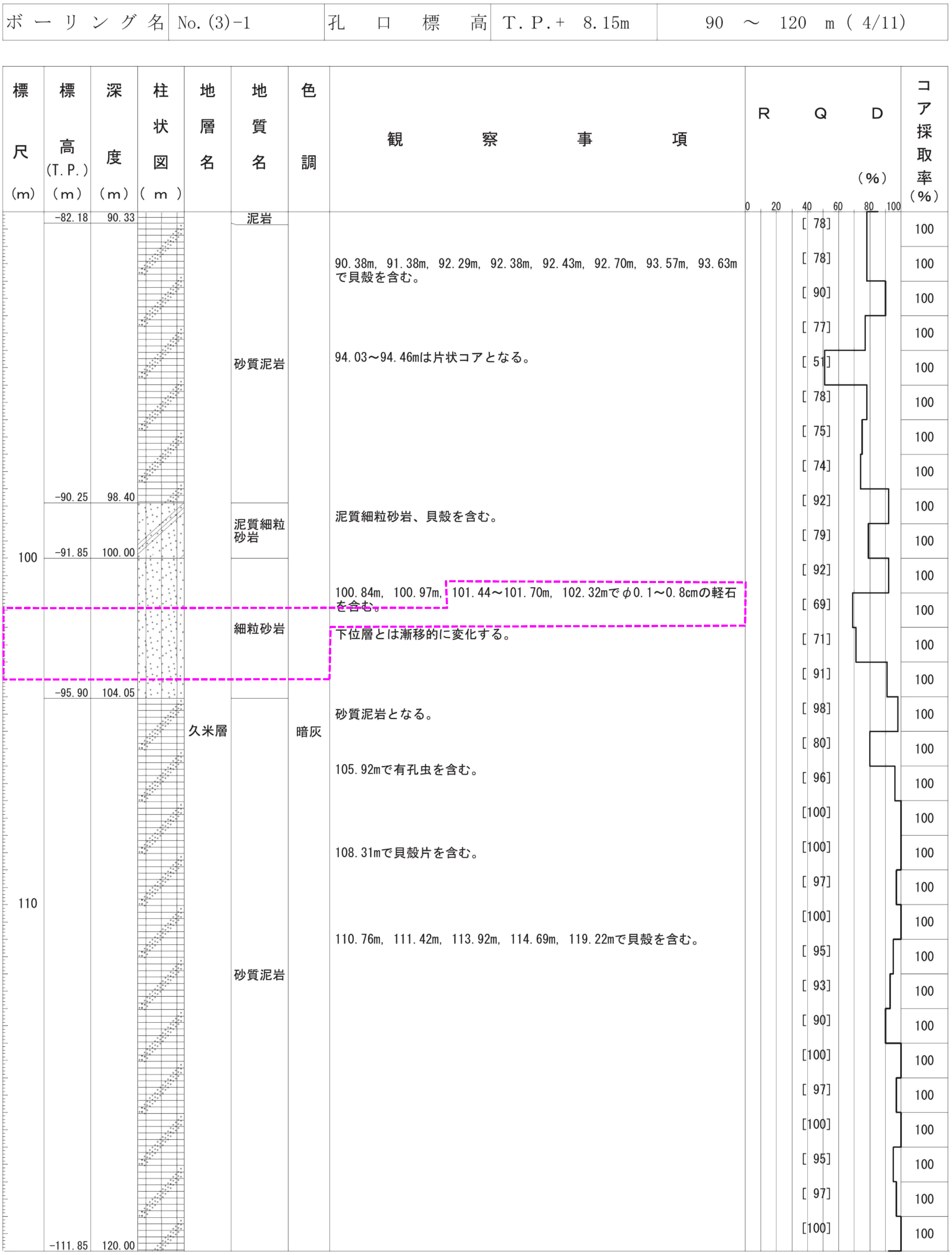
| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 60 ～ 90 m ( 3/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 柱状図 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | -58.95 | 67.10 | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰～灰 | 61.56m, 63.57m, 65.35m, 66.80m, 67.12m, 67.19mで貝殻を含む。 |
| 70, 80 | | | | 久米層 | 泥岩 | 暗灰 | 67.10～90.33mは泥質となる。<br>72.71～72.75mは凝灰質砂岩を挟む。<br>76.45～80.27mで凝灰岩薄層（2～10cm）を挟む。<br>85.00～86.00mは片状コアなる。 |

| RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|
| [ 91] | 100 |
| [ 64] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 97] | 100 |
| [ 94] | 100 |
| [ 92] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 55] | 100 |
| [ 84] | 100 |
| [ 96] | 100 |
| [ 96] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 97] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 55] | 100 |
| [ 91] | 100 |
| [ 88] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 80] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 95] | 100 |
| [ 80] | 100 |
| [ 15] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 70] | 100 |
| [ 65] | 100 |
| [ 85] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

## （3）-1孔 深度 90～120m



# 地質柱状図 （3）-1孔

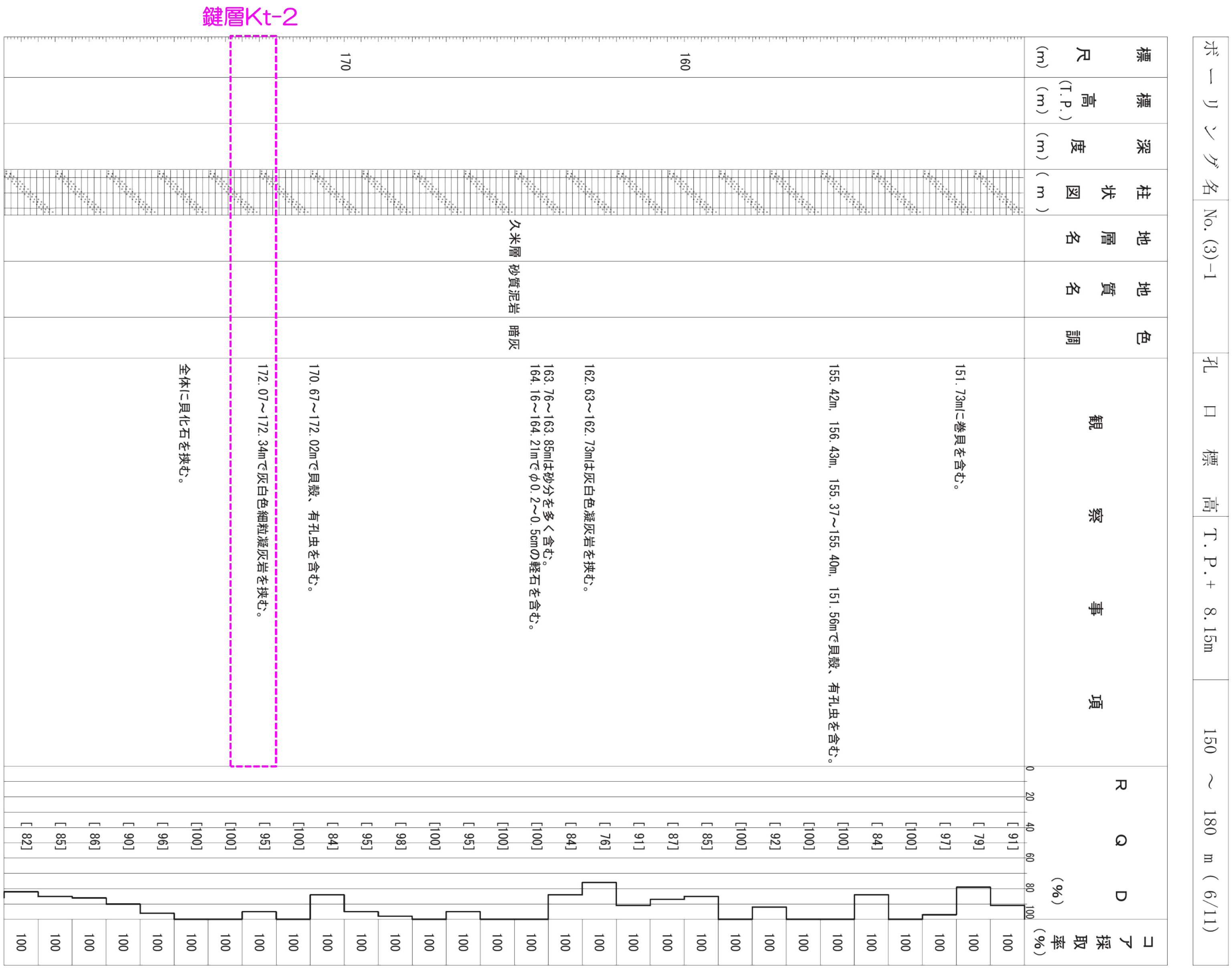
## （3）-1孔 深度 120～150m

| ボーリング名 | No. (3)-1 | 孔口標高 | T. P. + 8. 15m | 120 ～ 150 m ( 5/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T. P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | -113. 85 | 122. 00 | 久米層 | 泥岩 | 暗灰 | 120. 00～122. 00mは泥岩となる。 |
| 130 | -120. 24 | 128. 39 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 124. 61m, 124. 94mで軽石が点在する。<br>125. 24mで貝殻を含む。 |
| | -130. 59 | 138. 74 | 久米層 | 細粒砂岩 | 暗灰 | 細粒砂岩となる。<br>全体に泥質で、127. 48～128. 39m, 135. 00～135. 44mに砂質泥岩を挟む。<br>137. 17m～138. 47mは細～中礫を含む。<br>137. 26～138. 50mは貝殻片を含む。 |
| 140 | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 下位層とは漸移的で境界不鮮明。<br>砂質泥岩、全体に塊状を呈する。<br>140. 00～144. 08mは泥質で砂分は少ない。<br>144. 90～145. 04mは白色凝灰質砂岩を挟む。 |

| 深度区間 (m) | RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 120～121 | [ 92] | 100 |
| 121～122 | [ 93] | 100 |
| 122～123 | [100] | 100 |
| 123～124 | [ 70] | 100 |
| 124～125 | [ 94] | 100 |
| 125～126 | [100] | 100 |
| 126～127 | [ 94] | 100 |
| 127～128 | [100] | 100 |
| 128～129 | [ 85] | 100 |
| 129～130 | [ 92] | 100 |
| 130～131 | [100] | 100 |
| 131～132 | [ 82] | 100 |
| 132～133 | [100] | 100 |
| 133～134 | [ 83] | 100 |
| 134～135 | [ 91] | 100 |
| 135～136 | [ 80] | 100 |
| 136～137 | [ 84] | 100 |
| 137～138 | [ 77] | 100 |
| 138～139 | [ 82] | 100 |
| 139～140 | [ 82] | 100 |
| 140～141 | [100] | 100 |
| 141～142 | [100] | 100 |
| 142～143 | [100] | 100 |
| 143～144 | [100] | 100 |
| 144～145 | [100] | 100 |
| 145～146 | [ 85] | 100 |
| 146～147 | [100] | 100 |
| 147～148 | [ 92] | 100 |
| 148～149 | [ 91] | 100 |
| 149～150 | [100] | 100 |

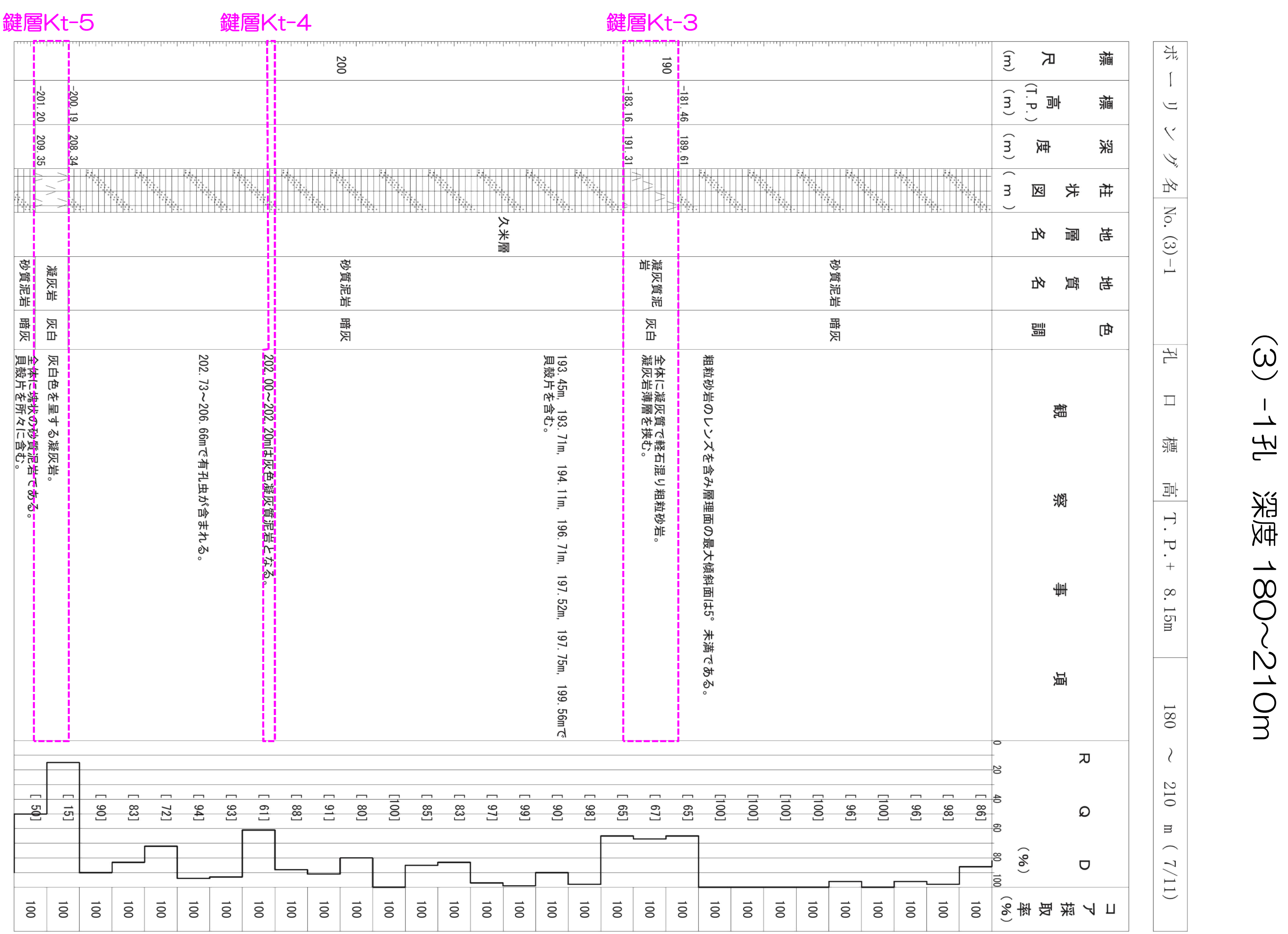
# 地質柱状図 (3)-1孔




(3)-1孔 深度150～180m

# 地質柱状図 （3）-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲



# 地質柱状図 （3）-1孔

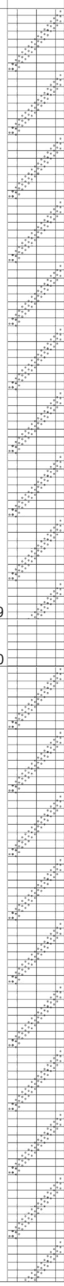


## （3）-1孔 深度 210～240m

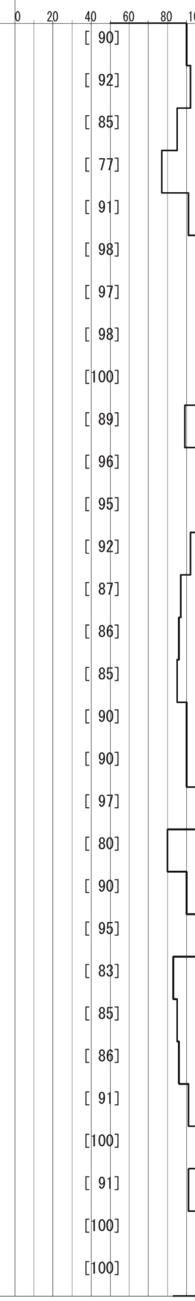
| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 210 ～ 240 m (8/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.)(m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 220 | -216.24 | 224.39 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 216.44m～218.43mで有孔虫を含む。 |
| | -217.35 | 225.50 | | 泥岩 | | 224.39～225.50mは泥質で、砂分少ない。 |
| 230 | | | | 砂質泥岩 | | 229.09m, 229.55mで貝殻を含む。<br>239.70m, 241.62mで貝殻を含む。 |

柱状図 (m)



RQD (%)




| RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|
| [ 90] | 100 |
| [ 92] | 100 |
| [ 85] | 100 |
| [ 77] | 100 |
| [ 91] | 100 |
| [ 98] | 100 |
| [ 97] | 100 |
| [ 98] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 89] | 100 |
| [ 96] | 100 |
| [ 95] | 100 |
| [ 92] | 100 |
| [ 87] | 100 |
| [ 86] | 100 |
| [ 85] | 100 |
| [ 90] | 100 |
| [ 90] | 100 |
| [ 97] | 100 |
| [ 80] | 100 |
| [ 90] | 100 |
| [ 95] | 100 |
| [ 83] | 100 |
| [ 85] | 100 |
| [ 86] | 100 |
| [ 91] | 100 |
| [100] | 100 |
| [ 91] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## （3）-1孔 深度 240～270m

| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 240 ～ 270 m ( 9/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 250 | | | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 241.11～241.24mで細粒砂岩を挟む。<br>244.75～244.85mで泥岩を挟み層理面はほぼ水平。<br>252.50～252.59mは岩片状のコア<br>254.85mでφ2cmのサンドボールを含む。 |
| | -250.16 | 258.31 | | 泥質細粒砂岩 | | 全体的に細粒砂岩となる。<br>257.84～258.31mで砂質泥岩を挟む。<br>258.31～258.33mで中粒砂岩を挟む。 |
| 260 | -251.68 | 259.83 | | 砂質泥岩 | | 砂質泥岩、所々に数cmの細粒砂岩を挟む。<br>266.84～266.69mは岩片状コアとなる。 |

| 深度区間 (m) | RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 240～241 | [ 83] | 100 |
| 241～242 | [ 85] | 100 |
| 242～243 | [ 95] | 100 |
| 243～244 | [ 90] | 100 |
| 244～245 | [ 98] | 100 |
| 245～246 | [100] | 100 |
| 246～247 | [ 96] | 100 |
| 247～248 | [ 75] | 100 |
| 248～249 | [ 99] | 100 |
| 249～250 | [ 98] | 100 |
| 250～251 | [ 87] | 100 |
| 251～252 | [ 86] | 100 |
| 252～253 | [ 67] | 100 |
| 253～254 | [ 76] | 100 |
| 254～255 | [ 65] | 100 |
| 255～256 | [ 95] | 100 |
| 256～257 | [ 84] | 100 |
| 257～258 | [ 66] | 100 |
| 258～259 | [ 85] | 100 |
| 259～260 | [ 10] | 100 |
| 260～261 | [ 91] | 100 |
| 261～262 | [ 68] | 100 |
| 262～263 | [ 59] | 100 |
| 263～264 | [ 64] | 100 |
| 264～265 | [ 90] | 100 |
| 265～266 | [ 96] | 100 |
| 266～267 | [ 89] | 100 |
| 267～268 | [ 96] | 100 |
| 268～269 | [ 97] | 100 |
| 269～270 | [ 85] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

## （3）-1孔 深度270～300m

| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 270 ～ 300 m ( 10/11) |
|---|---|---|---|---|

| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 280, 290 | -288.65 | 296.80 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 273.43mで貝殻を含む。<br>278.63mで巻貝を含む。<br>280.61～280.90mで灰白色細粒凝灰質泥岩を挟む。<br>286.71m, 287.55m, 289.51mで貝殻を含む。<br>290.30～294.96mで所々貝殻を含む。<br>294.05～294.73mで細粒砂岩を挟む。 |
| | -291.85 | 300.00 | 久米層 | 細粒砂岩 | 暗灰 | 塊状の細粒砂岩で全体にやや軟質で貝殻、有孔虫を含む。 |

| 深度 (m) | RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|
| 270～271 | [ 90] | 100 |
| 271～272 | [100] | 100 |
| 272～273 | [ 88] | 100 |
| 273～274 | [100] | 100 |
| 274～275 | [100] | 100 |
| 275～276 | [ 89] | 100 |
| 276～277 | [ 95] | 100 |
| 277～278 | [ 96] | 100 |
| 278～279 | [ 96] | 100 |
| 279～280 | [ 87] | 100 |
| 280～281 | [ 99] | 100 |
| 281～282 | [ 87] | 100 |
| 282～283 | [ 98] | 100 |
| 283～284 | [ 69] | 100 |
| 284～285 | [ 58] | 100 |
| 285～286 | [ 98] | 100 |
| 286～287 | [ 90] | 100 |
| 287～288 | [ 86] | 100 |
| 288～289 | [ 97] | 100 |
| 289～290 | [ 84] | 100 |
| 290～291 | [ 96] | 100 |
| 291～292 | [100] | 100 |
| 292～293 | [100] | 100 |
| 293～294 | [ 99] | 100 |
| 294～295 | [ 76] | 100 |
| 295～296 | [ 99] | 100 |
| 296～297 | [ 88] | 100 |
| 297～298 | [ 12] | 100 |
| 298～299 | [ 31] | 100 |
| 299～300 | [ 77] | 100 |

# 地質柱状図 （3）-1孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## （3）-1孔 深度 300～321.89m

| ボーリング名 | No.(3)-1 | 孔口標高 | T.P.+ 8.15m | 300 ～ 321.89m（11/11） |
|---|---|---|---|---|

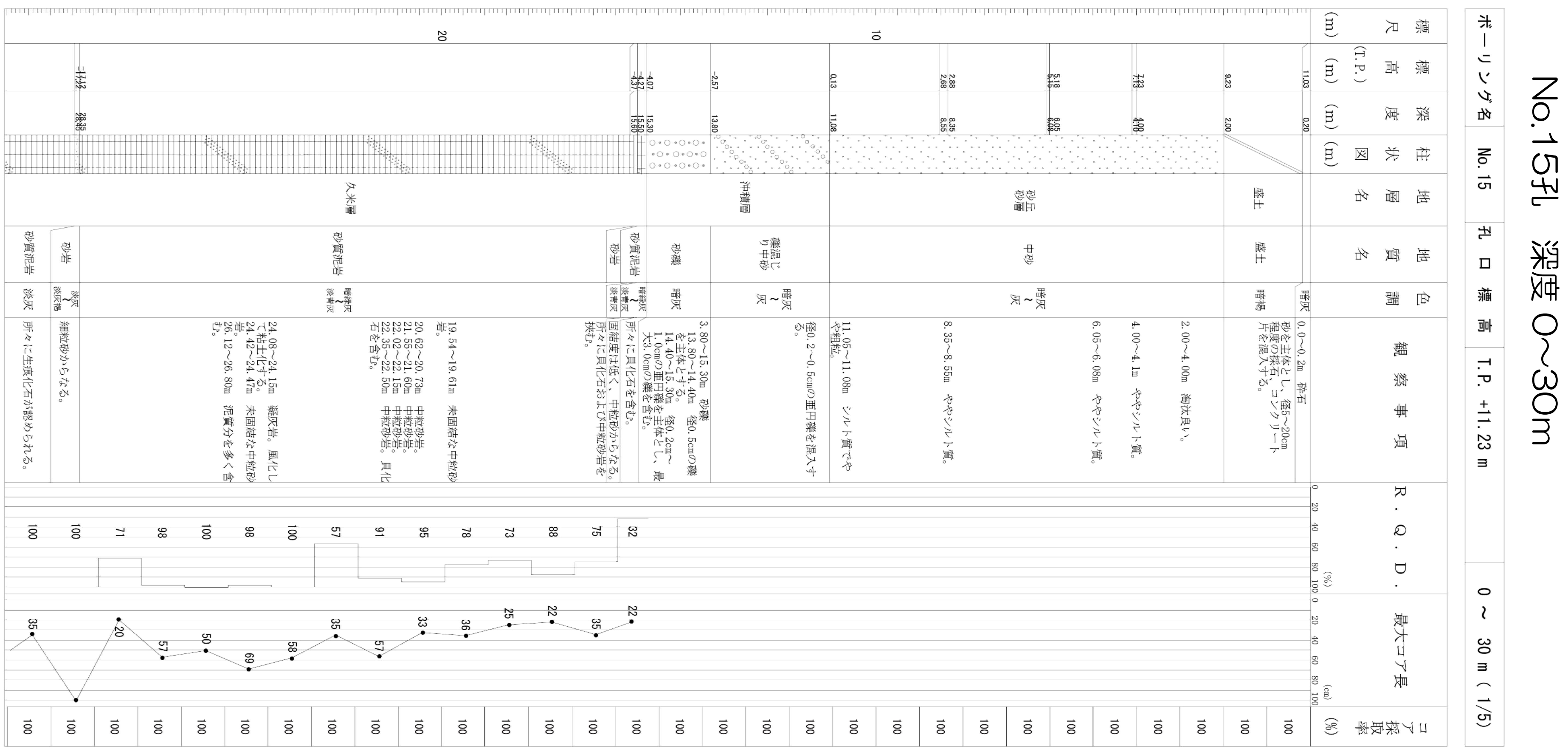
| 標尺 (m) | 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 310 | -298.93 | 307.08 | 久米層 | 泥質細粒砂岩 | 暗灰 | 303.25～303.76mで細粒砂岩の薄層を挟む砂質泥岩あり。 |
| 320 | -310.13 | 318.28 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 塊状の砂質泥岩で全体に貝殻を含む。<br>310.15～310.18m，310.31～310.34mでノジュールを含む。 |
| | -311.53 | 319.68 | 久米層 | 泥質細粒砂岩 | 暗灰 | 全体に泥質で砂質泥岩に近い層相を示す。 |
| | -313.74 | 321.89 | 久米層 | 砂質泥岩 | 暗灰 | 砂質泥岩で所々に貝殻や炭質物を含む。 |

| RQD (%) | コア採取率 (%) |
|---|---|
| [63] | 100 |
| [90] | 100 |
| [80] | 100 |
| [90] | 100 |
| [82] | 100 |
| [90] | 100 |
| [91] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |
| [100] | 100 |
| [98] | 100 |
| [100] | 100 |
| [87] | 100 |
| [97] | 100 |
| [100] | 100 |
| [98] | 100 |
| [87] | 100 |
| [100] | 100 |
| [86] | 100 |
| [70] | 100 |
| [96] | 100 |
| [93] | 100 |

No.15

# 地質柱状図 No.15孔

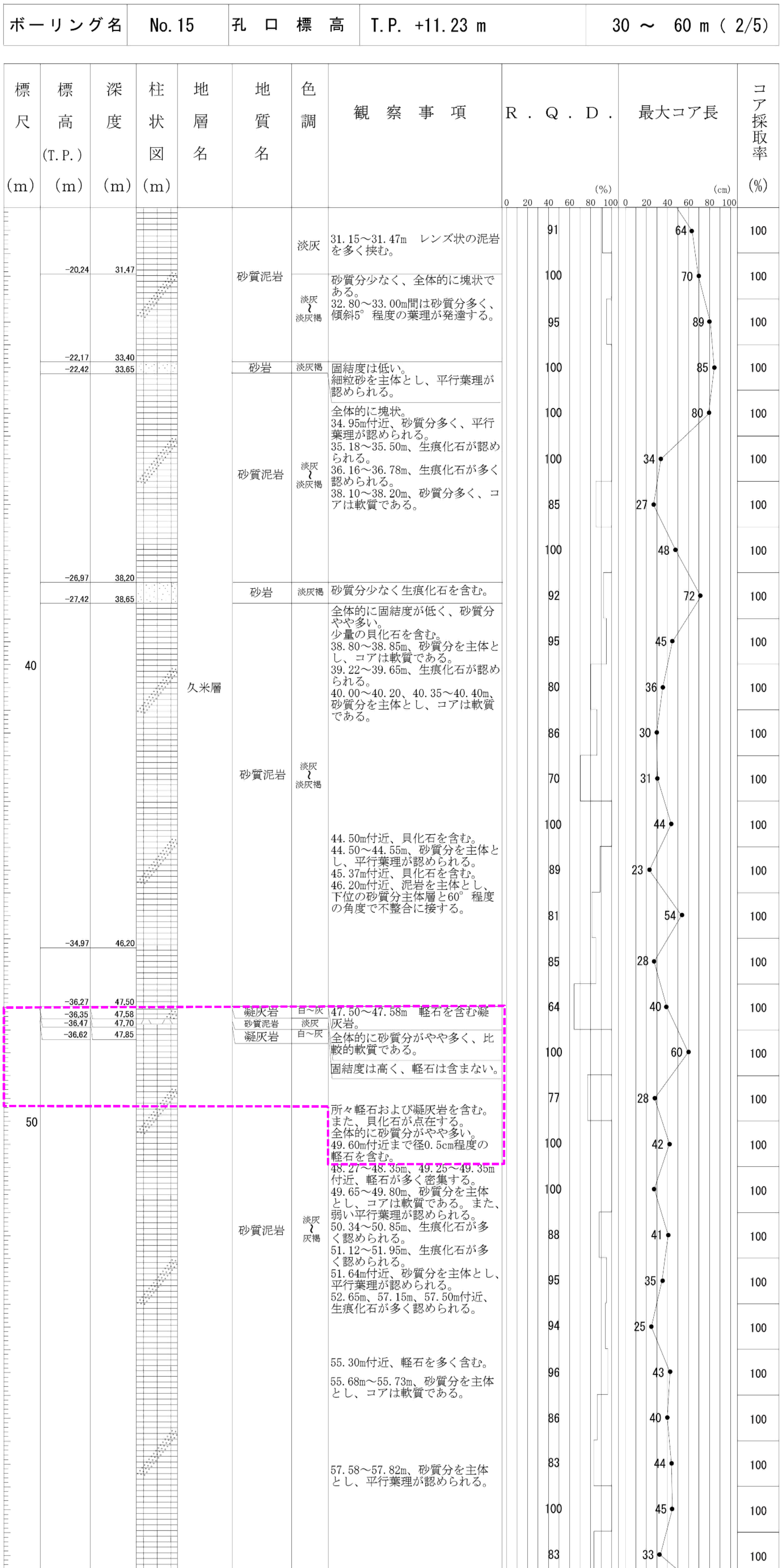
第147回 審査会合
机上配布資料 再掲



# 地質柱状図 No.15孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

No.15孔 深度 30~60m



# 地質柱状図 No.15孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.15孔 深度 60～90m

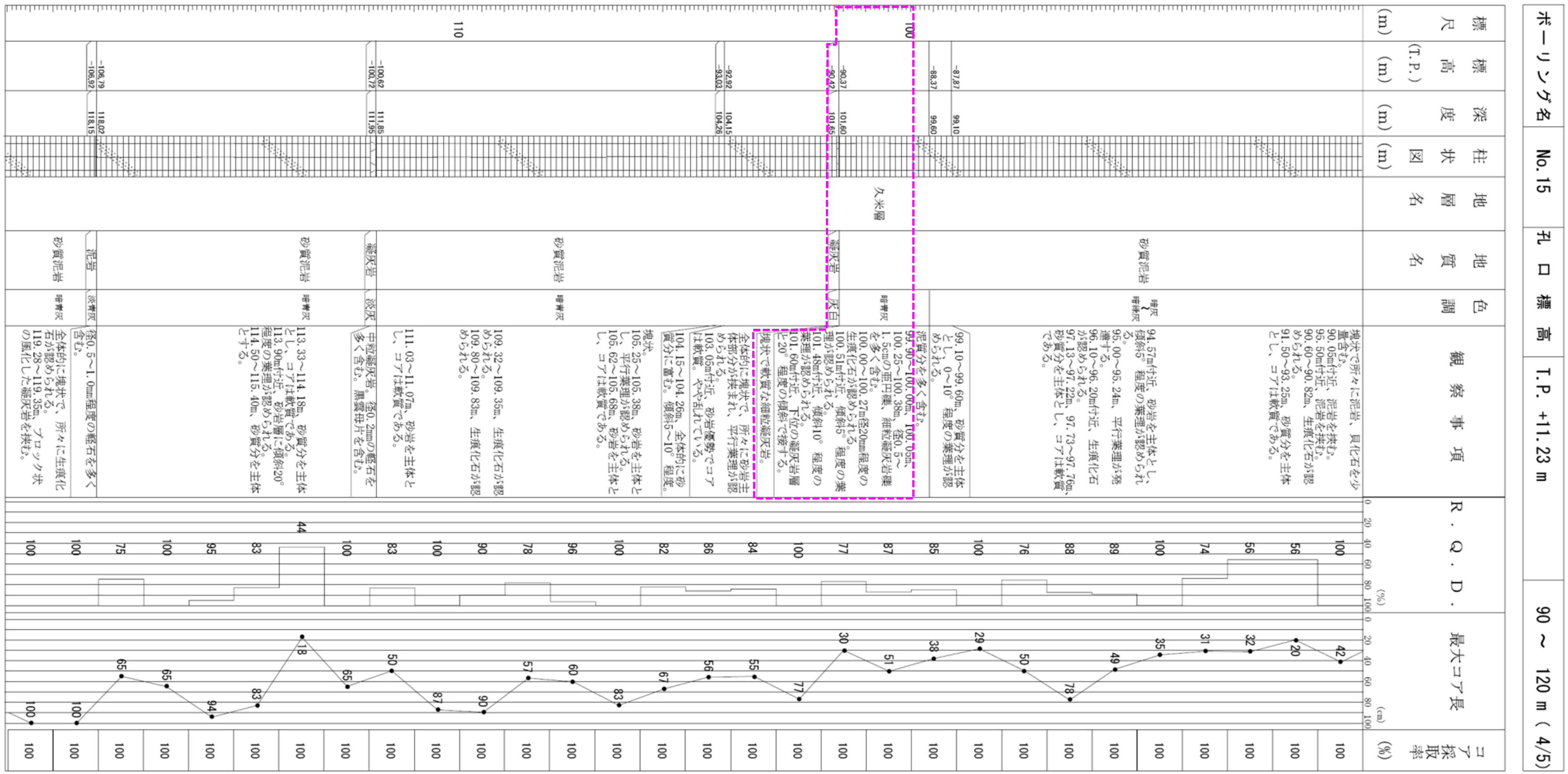
| ボーリング名 | No. 15 | 孔口標高 | T.P. +11.23 m | 60 ～ 90 m ( 3/5) |
|---|---|---|---|---|

| 深度 (m) | 標高 (T.P.)(m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 60.00～64.00 | ～-52.77 | 久米層 | 砂質泥岩 | 淡灰～灰褐 | 61.31m付近、径2.0cmの貝化石片を含む。<br>61.40～63.95m、生痕化石が多く認められる。<br>63.80～64.00m、泥岩を主体とする。<br>61.70m付近、貝化石を多く含む。 |
| 64.00～89.85 | -52.77～-78.62 | 久米層 | 砂質泥岩 | 灰褐～淡灰褐 | 所々固結度の低い細粒砂岩を含み、風化した凝灰岩層を挟む。また、散在的に軽石が認められる。<br>64.75～64.83m、砂質分を主体とし、平行葉理が認められる。<br>65.30～65.36m、やや凝灰質。<br>66.60m付近、細粒砂分を含み、貝化石を多く含む。<br>67.58m付近、レンズ状の風化凝灰岩を挟む。<br>67.72～67.94m、泥岩を主体とする。<br>67.95～68.05m、砂質分を主体とし、コアは軟質である。平行葉理が認められる。<br>68.05～68.80m、泥岩を主体とする。生痕化石が多く認められ、泥岩の構造は乱されている。<br>71.46m付近、生痕化石が多く認められる。<br>73.23～73.29m、径0.1cm程度の軽石を含み、粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>76.33～76.38m、砂岩を主体とし、コアは軟質である。<br>77.15m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>78.80m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>79.12m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>79.30m、79.40m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩レンズを挟む。<br>80.50～80.75m、砂岩を主体とし、コアは軟質である。弱い平行葉理が認められる。<br>80.80m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>80.90m付近、木片を含む。<br>81.40～84.00m、泥岩を主体とする。<br>81.60m付近、層厚3cm程度の粘土化した凝灰岩層を挟む。<br>81.73m付近、0～10°程度の層厚1cm程度の泥岩薄層を挟む。<br>82.70m付近、生痕化石が認められる。<br>84.00以深、所々貝化石片を含む。<br>86.95m付近、砂岩優勢層と泥岩優勢層が45°程度の角度で接する。<br>89.70m以深はやや凝灰質である。 |
| 89.85～89.96 | -78.62～-78.73 | | | | 風化した凝灰岩。黒雲母片を少量含む。 |

| 深度 (m) | R.Q.D. (%) | 最大コア長 (cm) | コア採取率 (%) |
|---|---|---|---|
| 60～61 | 100 | 84 | 100 |
| 61～62 | 88 | 37 | 100 |
| 62～63 | 98 | 30 | 100 |
| 63～64 | 95 | 40 | 100 |
| 64～65 | 100 | 54 | 100 |
| 65～66 | 96 | 81 | 100 |
| 66～67 | 91 | 41 | 100 |
| 67～68 | 93 | 46 | 100 |
| 68～69 | 83 | 30 | 100 |
| 69～70 | 93 | 80 | 100 |
| 70～71 | 91 | 54 | 100 |
| 71～72 | 96 | 80 | 100 |
| 72～73 | 89 | 48 | 100 |
| 73～74 | 100 | 40 | 100 |
| 74～75 | 73 | 55 | 100 |
| 75～76 | 100 | 65 | 100 |
| 76～77 | 96 | 63 | 100 |
| 77～78 | 93 | 57 | 100 |
| 78～79 | 89 | 25 | 100 |
| 79～80 | 100 | 49 | 100 |
| 80～81 | 89 | 49 | 100 |
| 81～82 | 87 | 43 | 100 |
| 82～83 | 91 | 47 | 100 |
| 83～84 | 100 | 39 | 100 |
| 84～85 | 86 | 56 | 100 |
| 85～86 | 81 | 30 | 100 |
| 86～87 | 95 | 47 | 100 |
| 87～88 | 100 | 36 | 100 |
| 88～89 | 100 | 40 | 100 |
| 89～90 | 72 | 20 | 100 |

# 地質柱状図 No.15孔

第147回 審査会合
机上配布資料 加筆修正

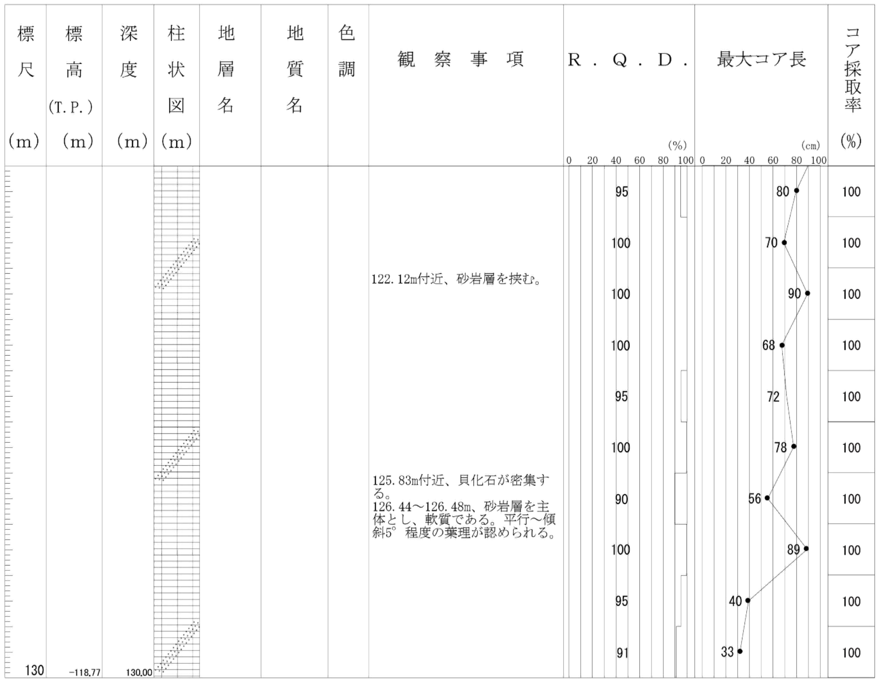



No.15孔 深度90~120m

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.15孔　深度 120～130m

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ボーリング名 | No. 15 | 孔 口 標 高 | T.P. +11.23 m | 120 ～ 130 m ( 5/5) |



No.20

# 地質柱状図 No.20孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲

## No.20孔 深度 0～30m

| ボーリング名 | No. 20 | 孔口標高 | T.P. +19.26 | 0 ～ 30 m (1/3) |
|---|---|---|---|---|

| 標高 (T.P.) (m) | 深度 (m) | 地層名 | 地質名 | 色調 | 観察事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 23.06 | 0.30 | | | | 腐植まじり細粒砂である。 |
| 21.36 | 2.00 | 砂丘砂層 | 細砂 | 暗褐灰～黄灰 | 全体に緩く、泥質分を含まない。 |
| 17.56 | 5.80 | 砂丘砂層 | 中砂 | 淡灰褐～淡暗灰 | 全体に緩く泥質分を含まない。礫は含まれず、砂丘砂と考えられる。 |
| 15.46 | 7.90 | 砂丘砂層 | 細砂 | 淡灰褐～淡暗灰 | 全体に緩く泥質分を含まない。 |
| 9.41 | 13.95 | 砂丘砂層 | 中砂 | 黄灰褐～暗灰 | 全体に緩く泥質分を含まない。 |
| 8.61 | 14.75 | 砂丘砂層 | 粗砂 | 暗灰 | 全体に緩く泥質分を含まない。 |
| 5.91 | 17.45 | 砂丘砂層 | 中砂 | 淡灰褐 | 全体に緩く泥質分が少ない。17m以深は、灰色がやや強くなり、含水比が高い。 |
| 5.81 | 17.55 | 砂丘砂層 | 粗砂 | 淡灰褐 | |
| 3.36 | 20.00 | 砂丘砂層 | 中砂 | 淡灰褐 | 全体に緩い。砂丘砂と考えられる。 |
| 1.46 | 21.90 | 砂丘砂層 | 粗砂 | 淡褐 | 未固結で緩い。やや含水比が高い。 |
| 1.36 | 22.00 | 砂丘砂層 | シルト | 暗茶 | 腐植質シルトである。 |
| -5.54 | 28.90 | 砂丘砂層 | 中砂 | 暗灰 | 未固結で非常に緩い。 |
| | | 沖積層 | 砂混じり粘土 | 灰褐～淡灰 | 含水比、粘性が高い。やや腐植質である。30m以深には少量の円礫混入する。最大礫径は10ミリ程度で、礫種は砂岩、泥岩を主体とする。 |

R.Q.D. (%) 0 20 40 60 80 100

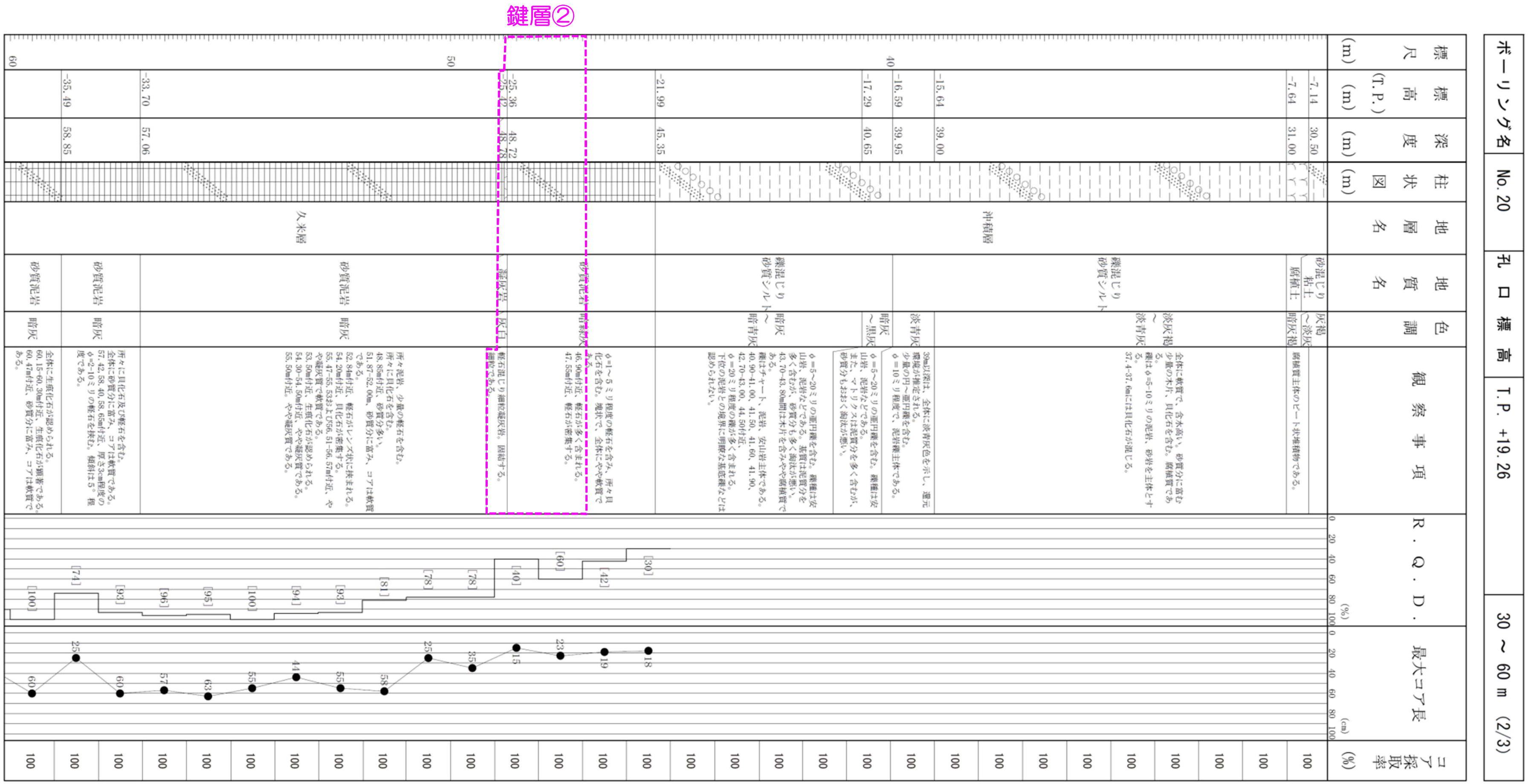
最大コア長 (cm) 0 20 40 60 80 100

コア採取率 (%)

| 深度 (m) | 0–1 | 1–2 | 2–3 | 3–4 | 4–5 | 5–6 | 6–7 | 7–8 | 8–9 | 9–10 | 10–11 | 11–12 | 12–13 | 13–14 | 14–15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コア採取率 (%) | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

| 深度 (m) | 15–16 | 16–17 | 17–18 | 18–19 | 19–20 | 20–21 | 21–22 | 22–23 | 23–24 | 24–25 | 25–26 | 26–27 | 27–28 | 28–29 | 29–30 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コア採取率 (%) | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

# 地質柱状図 No.20孔




No.20孔 深度 30~60m

# 地質柱状図 No.20孔

第147回 審査会合
机上配布資料 再掲